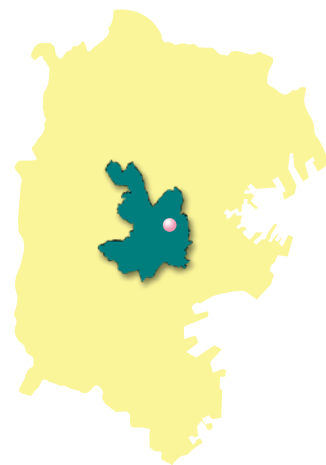


統計で知るほどがや へそ



西谷トンネルを通る相鉄車両



©1999 Y.F.SPORTS C.

横浜FC LEOCトレーニングセンター

2020年
横浜市保土ヶ谷区役所

はじめに

本書は、保土ヶ谷区に関する基礎的な統計データを紹介したものです。

各種統計データから、保土ヶ谷区の現状や移り変わりについてご紹介させていただくことで、様々な顔を持つ保土ヶ谷区に興味をお持ちいただき、区政への関心をより深めていただければ幸いです。

最後に、発刊にあたりまして、貴重な資料を提供していただきました関係諸機関の皆様のご厚意に厚くお礼申し上げます。

令和2年 保土ヶ谷区

もくじ

区の主な特徴	1
区の主な指標	2
区の統計データ	3
1 土地	3
2 人口	4
◎目で見える保土ヶ谷区の特徴	8
3 地域経済（事業所 / 工業 / 商業 / 農業）	13
4 生活環境（公園 / 住宅 / 交通 / ごみ・大気・河川 / 消防・警察 / 医療 / 衛生）	17
5 福祉保健（生活保護 / 障害者・介護保険・高齢者 / こども家庭）	23
6 保険・年金	26
7 教育	27
8 市税	28
9 市民利用施設	29
10 市・区政相談	30
11 戸籍	30
12 選挙	31
13 地域社会	33
14 防災	33
区の出来事&世の中の動き	34
いろいろな統計調査	

表紙について

2019年保土ヶ谷区での大きな出来事

「相鉄・JR 直通線開通」「横浜 FC J1 昇格」

この2つの出来事と保土ヶ谷区に縁のある場所を表紙の写真に選びました。

表紙の上の写真…西谷トンネルを通る相鉄車両

写真提供：都市整備局

下の写真…西谷浄水場内の横浜 FC LEOC トレーニングセンター

写真提供：横浜 FC

「へそ」？

統計で知るほどがやの表題として「へそ」その意味は…

横浜市の地理的な中心が、保土ヶ谷区にあることから「へそ」と命名しました。

(注) 構成比等の算出については、小数点以下2位または3位を四捨五入してあるので、必ずしも合計に一致しない場合があります。

区の主な特徴

市内で最初の区として誕生

保土ケ谷区は、江戸時代には宿場町として、開港後は近代水道や工業の中心地として栄えてきました。昭和2年(1927年)10月1日の区制施行で、鶴見区、神奈川区、中区、磯子区とともに誕生した保土ケ谷区。2017年に区政90周年を迎えました。

ほどほどな区？

保土ケ谷区は、全市18区の中で人口や面積をはじめ様々な点で中位に位置しており、横浜の平均的な地域と言えます。このため、高くも低くもない「ほどほどな区」とも言われます。また、市の中心点も星川中央公園(星川二丁目)付近となっています。

ほどほど保土ケ谷あれこれ

◆人口が横浜市第9位

保土ケ谷区の人口は、205,915人で、市内18区中9位となっています。1位は港北区の353,398人で、18位は西区の103,919人です。(令和元年12月1日現在)

◆老年人口比率が横浜市内第9位

保土ケ谷区の老年人口比率は26.3%で、市内18区中9位となっています。1位は栄区の30.8%で、18位は都筑区の17.3%です。(平均24.4%)

◆昼夜人口比率が横浜市内第9位

保土ケ谷区の昼夜人口比率は、85.1%で、市内18区中9位となっています。1位は西区の186.0%で、18位は青葉区の76.2%です。(平成27年国勢調査)

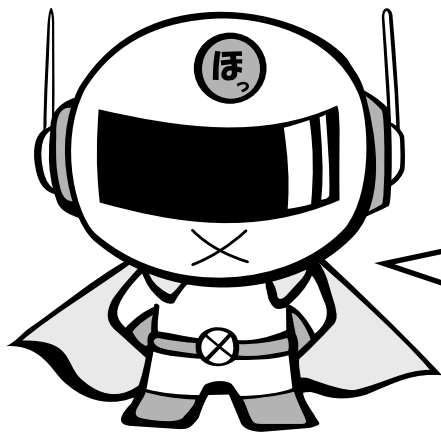
◆出生数が横浜市内第9位

保土ケ谷区の出生数は、1,408人で、市内18区中9位となっています。1位は港北区の3,409人で、18位は瀬谷区の775人です。(平成29年)

◆緑被率が横浜市内第9位

保土ケ谷区の緑被率は、30.0%で、市内18区中9位となっています。1位は緑区の41.4%で、18位は西区の11.6%です。(平成26年度)

統計便覧キャラクター



私は、保土ケ谷区統計便覧のマスコット「ほっと」です。よろしくお願ひします。

「統計で知るほどがや へそ2020年」での私の主な任務は、8ページから11ページの紹介です。

この冊子の統計データ等から、ほどがやを知っていただき、よりいっそうほどがやを好きになってほしいです。

区の主な指標

区 分	保土ヶ谷区	横浜市	基準日	18区中順位
世帯数	96,616世帯	1,712,830世帯	R1.12.1	8位
人口	205,915人	3,749,972人	R1.12.1	9位
面積	21.81km ²	435.43km ²	R1.12.1	11位
市街化区域面積	17.2km ²	337.4km ²	H30年度末	11位
人口密度	9,441人/km ²	8,612人/km ²	R1.12.1	6位
1世帯あたり人員	2.13人	2.19人	R1.12.1	12位
平均年齢	47.0歳	45.9歳	R1.9.30	9位
年少人口比率	11.1%	12.2%	R1.9.30	16位
老年人口比率	26.3%	24.4%	R1.9.30	9位
昼夜人口比率	85.1%	91.7%	H27.10.1	9位
出生数	1,408人	27,763人	H29年	9位
事業所数 (経済センサス活動調査)	4,750事業所	114,930事業所	H28.6.1	13位
事業所従業者数 (経済センサス活動調査)	53,533人	1,475,974人	H28.6.1	12位
製造業事業所数 (工業統計調査)	57事業所	2,331事業所	H30.6.1	13位
製造業従業者数 (工業統計調査)	1,918人	90,938人	H30.6.1	11位
卸売業事業所数 (商業統計調査)	168事業所	4,708事業所	H26.7.1	11位
卸売業従業者数 (商業統計調査)	1,372人	55,736人	H26.7.1	11位
小売業事業所数 (商業統計調査)	617事業所	14,217事業所	H26.7.1	13位
小売業従業者数 (商業統計調査)	5,448人	148,080人	H26.7.1	13位
人口10万人比病床数	900.8床	761.7床	H31.3.31	6位
緑被率	30.0%	28.8%	H26年度	9位
1人あたり公園面積	4.8m ²	4.9m ²	H30年度末	8位
市税収入	35,149百万円	823,712百万円	H30年度	10位

※「18区中順位」は、降順(数値が大きい順。18区の中で、上位から数えて何位になっているか)で表示しています。

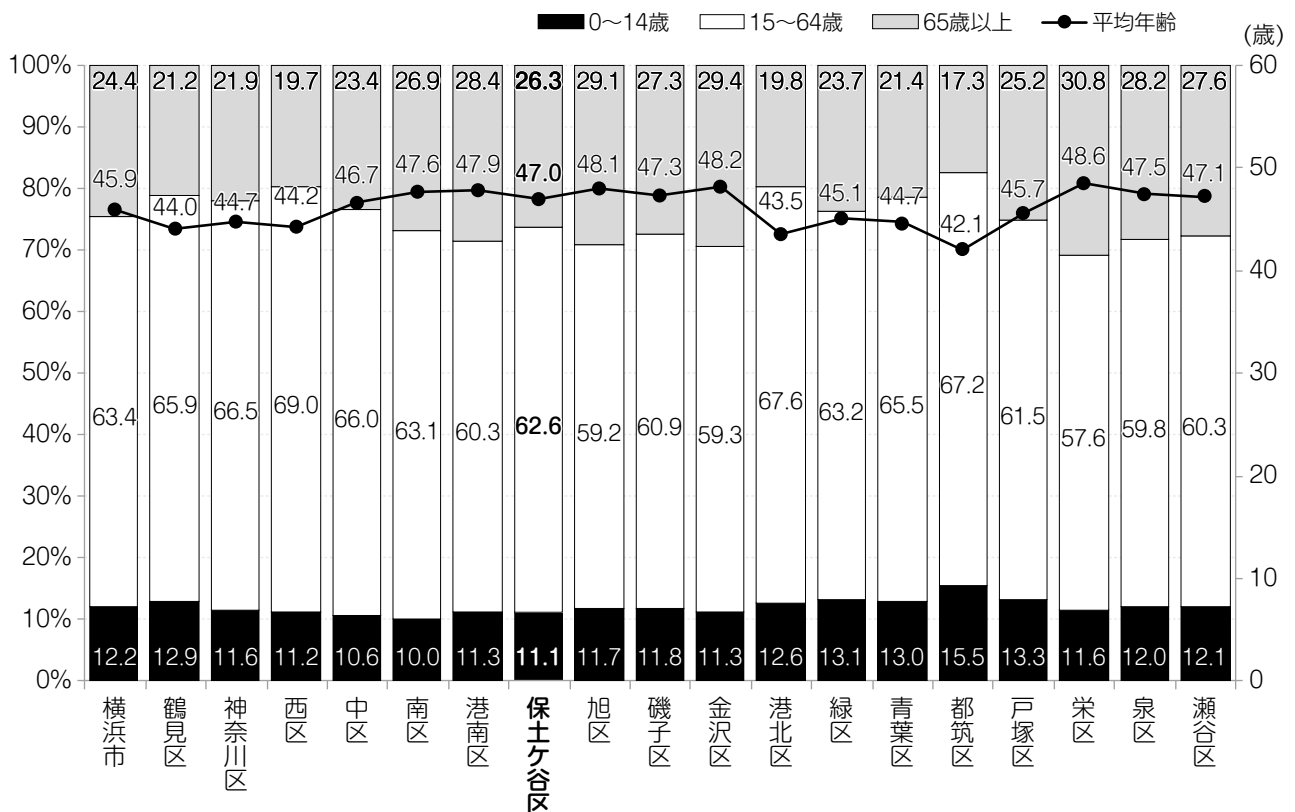
2人口

○世帯数と人口(区別) (令和元年12月1日現在推計)

区分	世帯数	人口			1世帯 当たり 人員	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
		総数	男	女			
横浜市	1,712,830	3,749,972	1,862,774	1,887,198	2.19	435.43	8,612
鶴見区	140,308	292,942	151,292	141,650	2.09	32.38	9,047
神奈川区	126,072	244,967	124,230	120,737	1.94	23.59	10,384
西区	55,755	103,919	52,558	51,361	1.86	6.98	14,888
中区	81,437	149,905	78,730	71,175	1.84	21.07	7,115
南区	99,942	195,622	97,503	98,119	1.96	12.63	15,489
港南区	94,035	213,856	104,788	109,068	2.27	19.86	10,768
保土ヶ谷区	96,616	205,915	102,370	103,545	2.13	21.81	9,441
旭区	106,192	245,155	118,701	126,454	2.31	32.78	7,479
磯子区	77,048	166,385	81,800	84,585	2.16	19.02	8,748
金沢区	88,463	198,179	97,086	101,093	2.24	30.68	6,460
港北区	170,767	353,398	178,442	174,956	2.07	31.37	11,265
緑区	78,084	182,485	89,777	92,708	2.34	25.42	7,179
青葉区	129,473	310,297	150,522	159,775	2.40	35.06	8,850
都筑区	83,822	212,601	105,850	106,751	2.54	27.88	7,626
戸塚区	119,623	280,737	137,232	143,505	2.35	35.70	7,864
栄区	51,464	119,679	58,220	61,459	2.33	18.55	6,452
泉区	62,273	151,790	74,134	77,656	2.44	23.56	6,443
瀬谷区	51,456	122,140	59,539	62,601	2.37	17.11	7,139

資料：横浜市統計ポータルサイト

○年齢三区分別人口割合(区別) (令和元年9月30日現在)



※年齢不詳者は数値に含んでいません。

資料：横浜市統計ポータルサイト

※小数点第2位以下の数値を四捨五入しているため、100%にならない場合があります。

2 人 口

○町別面積・世帯数・人口及び三区分別人口比率(令和元年9月30日現在)

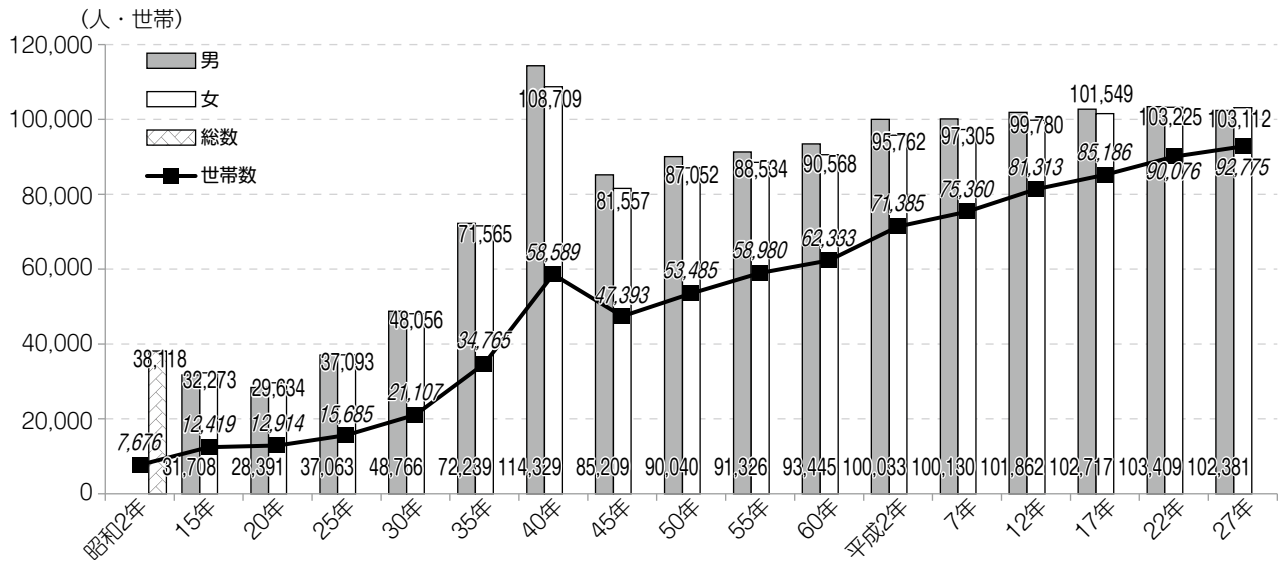
	世帯数	人口総数	0～14歳		15～64歳		65歳～		面積
			(人)	(比率)	(人)	(比率)	(人)	(比率)	
保土ヶ谷区合計	101,270	204,971	22,740	11.1%	128,376	62.6%	53,855	26.3%	21.806
新井町	3,287	6,685	706	10.6%	3,587	53.7%	2,392	35.8%	0.785
今井町	2,714	5,984	724	12.1%	3,735	62.4%	1,525	25.5%	1.707
岩井町	3,868	7,173	815	11.4%	4,829	67.3%	1,529	21.3%	0.553
岩崎町	1,297	2,649	245	9.2%	1,583	59.8%	821	31.0%	0.224
岩間町	1,003	1,700	120	7.1%	1,054	62.0%	526	30.9%	0.097
岡沢町	1,887	3,521	369	10.5%	2,411	68.5%	741	21.0%	0.426
霞台	1,320	2,698	295	10.9%	1,709	63.3%	694	25.7%	0.223
帷子町	815	1,473	121	8.2%	1,007	68.4%	345	23.4%	0.060
釜台町	1,747	3,485	370	10.6%	2,318	66.5%	797	22.9%	0.295
鎌谷町	2,133	4,370	467	10.7%	2,801	64.1%	1,102	25.2%	0.329
上菅田町	6,581	14,096	1,821	12.9%	7,840	55.6%	4,435	31.5%	1.886
上星川一丁目	502	958	99	10.3%	696	72.7%	163	17.0%	0.089
上星川二丁目	1,696	3,538	358	10.1%	2,380	67.3%	800	22.6%	0.313
上星川三丁目	1,009	1,938	240	12.4%	1,189	61.4%	509	26.3%	0.098
狩場町	3,380	7,252	691	9.5%	4,499	62.0%	2,062	28.4%	1.005
川島町	4,708	9,224	957	10.4%	5,087	55.1%	3,180	34.5%	1.531
川辺町	2,296	5,262	719	13.7%	3,408	64.8%	1,135	21.6%	0.217
神戸町	860	1,666	177	10.6%	1,051	63.1%	438	26.3%	0.270
権太坂一丁目	1,438	3,237	394	12.2%	1,905	58.9%	938	29.0%	0.338
権太坂二丁目	780	1,894	319	16.8%	1,257	66.4%	318	16.8%	0.177
権太坂三丁目	1,420	3,331	396	11.9%	1,983	59.5%	952	28.6%	0.200
境木町	296	636	64	10.1%	294	46.2%	278	43.7%	0.285
境木本町	1,537	3,866	500	12.9%	2,275	58.8%	1,091	28.2%	0.300
坂本町	1,316	2,867	434	15.1%	1,897	66.2%	536	18.7%	0.230
桜ヶ丘一丁目	1,262	2,513	223	8.9%	1,592	63.4%	698	27.8%	0.246
桜ヶ丘二丁目	1,717	3,692	601	16.3%	2,376	64.4%	715	19.4%	0.241
新桜ヶ丘一丁目	1,592	3,508	378	10.8%	1,840	52.5%	1,290	36.8%	0.285
新桜ヶ丘二丁目	1,288	2,919	261	8.9%	1,663	57.0%	995	34.1%	0.264
瀬戸ヶ谷町	2,920	6,100	624	10.2%	4,068	66.7%	1,408	23.1%	0.416
月見台	1,389	2,783	283	10.2%	1,771	63.6%	729	26.2%	0.231
天王町	3,092	5,128	448	8.7%	3,401	66.3%	1,279	24.9%	0.237
常盤台	3,070	6,327	690	10.9%	4,470	70.6%	1,167	18.4%	1.105
西久保町	2,902	5,206	483	9.3%	3,675	70.6%	1,048	20.1%	0.275
西谷町	3,612	6,973	670	9.6%	4,625	66.3%	1,678	24.1%	0.620
初音ヶ丘	1,468	3,271	409	12.5%	1,978	60.5%	884	27.0%	0.261
花見台	225	432	33	7.6%	206	47.7%	193	44.7%	0.361
東川島町	2,119	4,302	476	11.1%	2,784	64.7%	1,042	24.2%	0.427
藤塚町	734	1,660	186	11.2%	1,032	62.2%	442	26.6%	0.277
仏向町	6,122	12,551	1,756	14.0%	7,689	61.3%	3,106	24.7%	1.812
仏向西	1,713	3,979	432	10.9%	2,682	67.4%	865	21.7%	0.236
法泉一丁目	861	2,076	262	12.6%	1,389	66.9%	425	20.5%	0.177
法泉二丁目	785	1,825	226	12.4%	1,069	58.6%	530	29.0%	0.143
法泉三丁目	995	2,182	273	12.5%	1,290	59.1%	619	28.4%	0.183
星川一丁目	1,467	2,661	236	8.9%	1,621	60.9%	804	30.2%	0.179
星川二丁目	926	1,812	181	10.0%	1,082	59.7%	549	30.3%	0.152
星川三丁目	1,213	2,194	207	9.4%	1,448	66.0%	539	24.6%	0.206
保土ヶ谷町	1,248	2,156	214	9.9%	1,455	67.5%	487	22.6%	0.189
峰岡町	3,562	6,511	631	9.7%	4,158	63.9%	1,722	26.4%	0.515
峰沢町	2,031	3,718	312	8.4%	2,293	61.7%	1,113	29.9%	0.553
宮田町	1,506	2,580	212	8.2%	1,731	67.1%	637	24.7%	0.188
明神台	1,278	2,417	291	12.0%	1,517	62.8%	609	25.2%	0.117
和田一丁目	1,232	2,036	172	8.4%	1,376	67.6%	488	24.0%	0.118
和田二丁目	1,051	1,956	169	8.6%	1,300	66.5%	487	24.9%	0.154

*住民基本台帳において字にあたる丁が記載されていないものは表示していません。
このため、町の人口とうち数の合計が一致しない場合があります。

資料：横浜市統計ポータルサイト

2人口

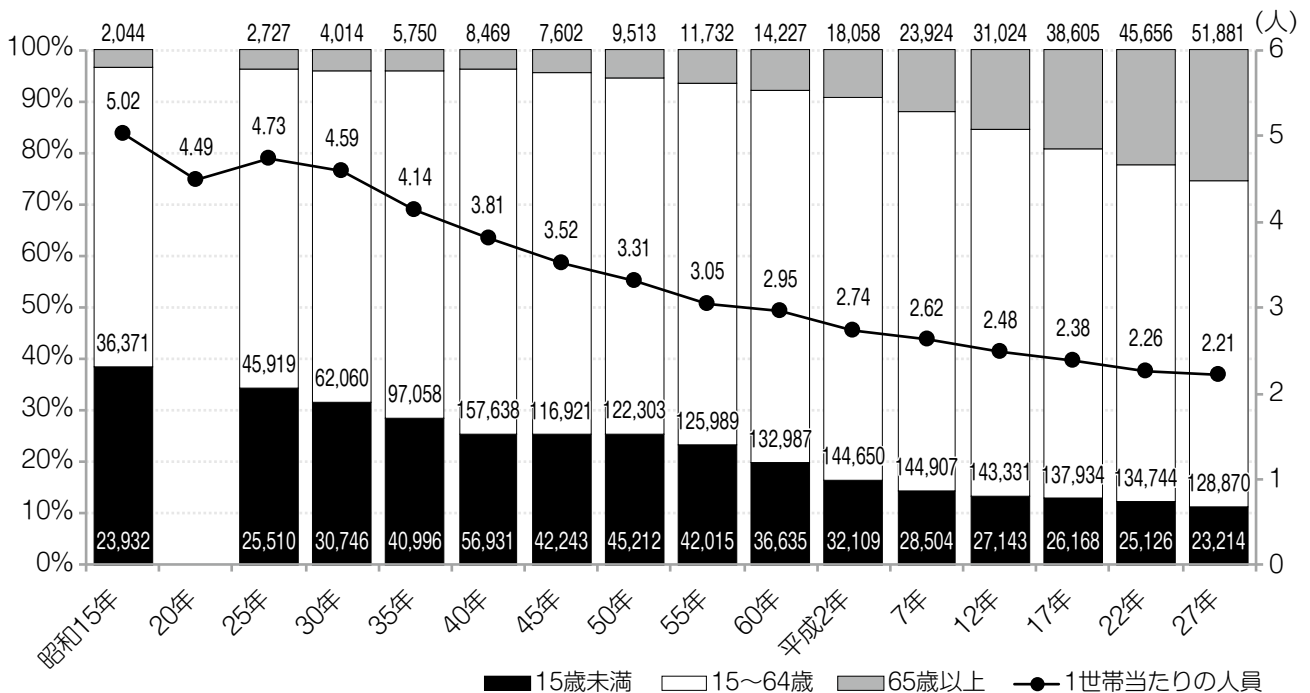
○人口の歩み



※昭和2年は男女別の集計なし

資料：国勢調査、横浜市統計ポータルサイト

○人口構成(三区)の推移



※データ年月日：各年10月1日現在。ただし昭和20年は11月1日現在。

資料：国勢調査

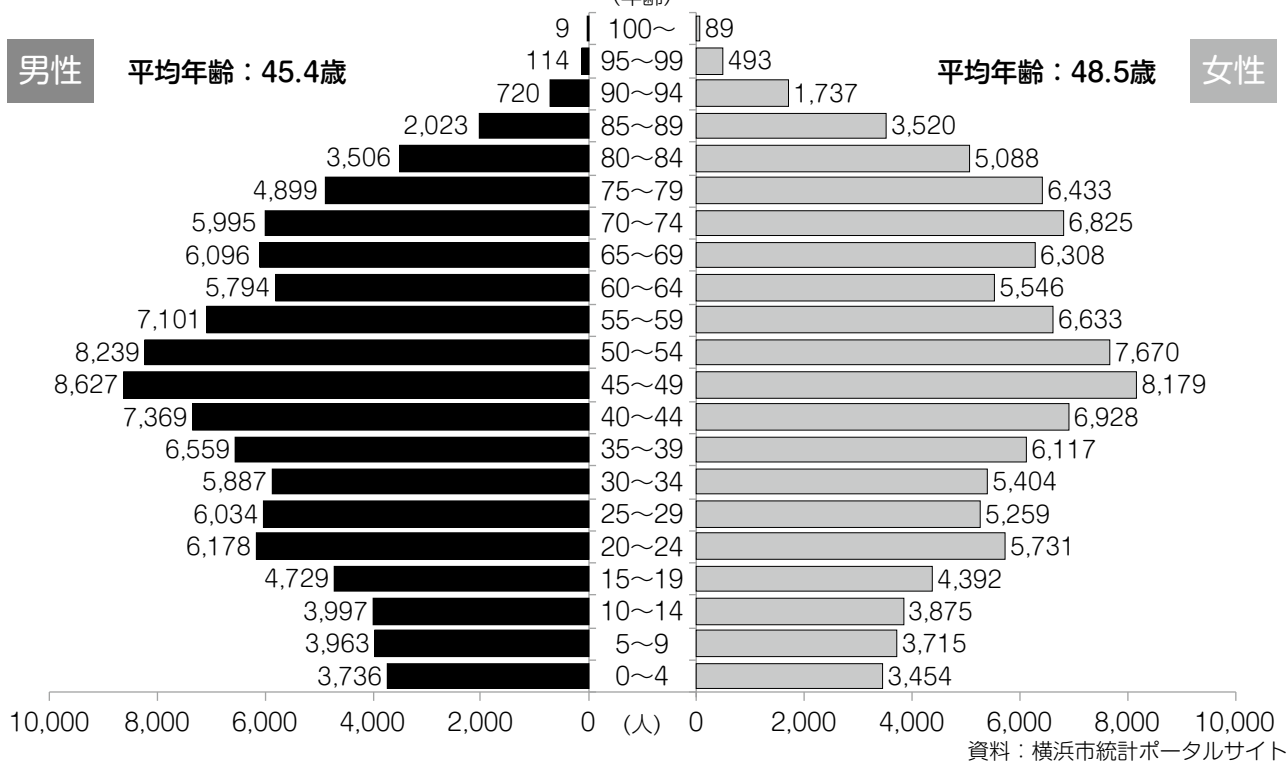
※昭和15年の年齢別集計は内地人のみの人口

※昭和20年の人口は11月1日現在人口調査によるもので、年齢別集計ではない。

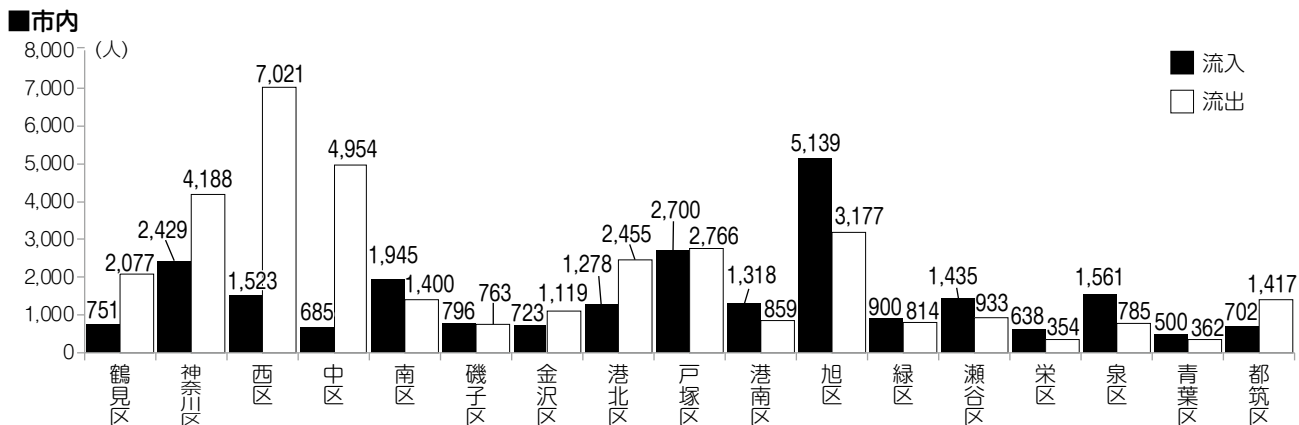
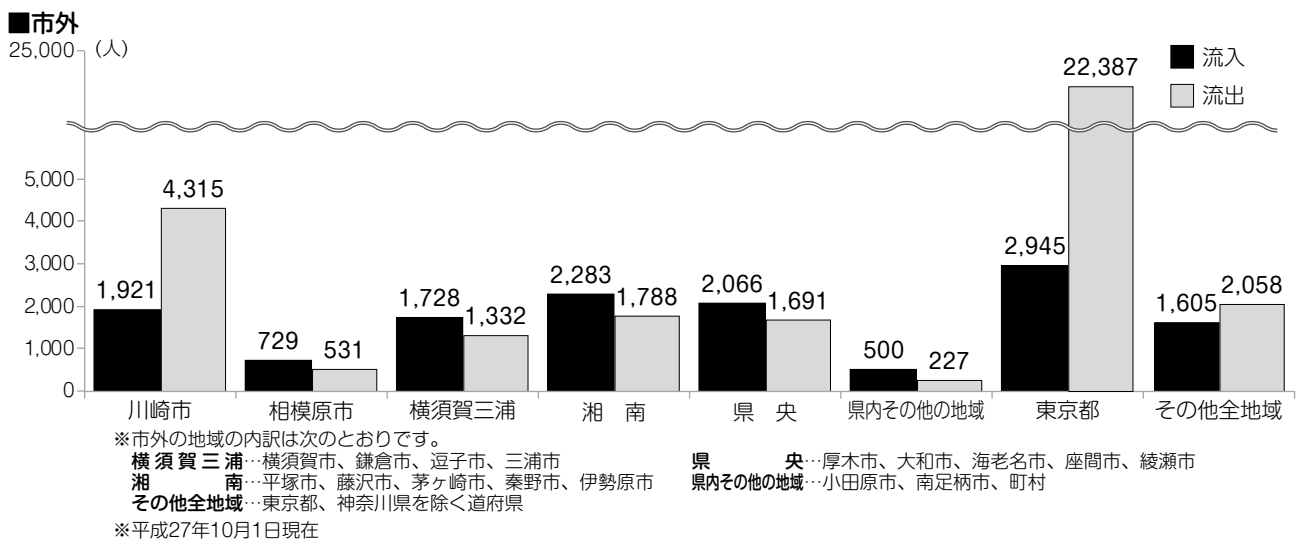
※年齢不詳者は数値に含んでいません。

2人口

○ 5歳階級別人口構成(令和元年9月30日現在)

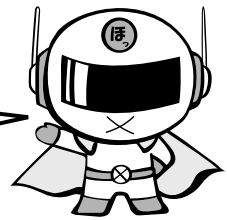


○ 15歳以上通勤・通学者の動き(市外・市内)



◎目で見える保土ヶ谷区の特徴

あなたが暮らす保土ヶ谷区の町。どのような特徴があるでしょうか。ここでは、町別の統計データを地図とランキングでご紹介します。



○区内の人口増減(2009年と2019年の比較)

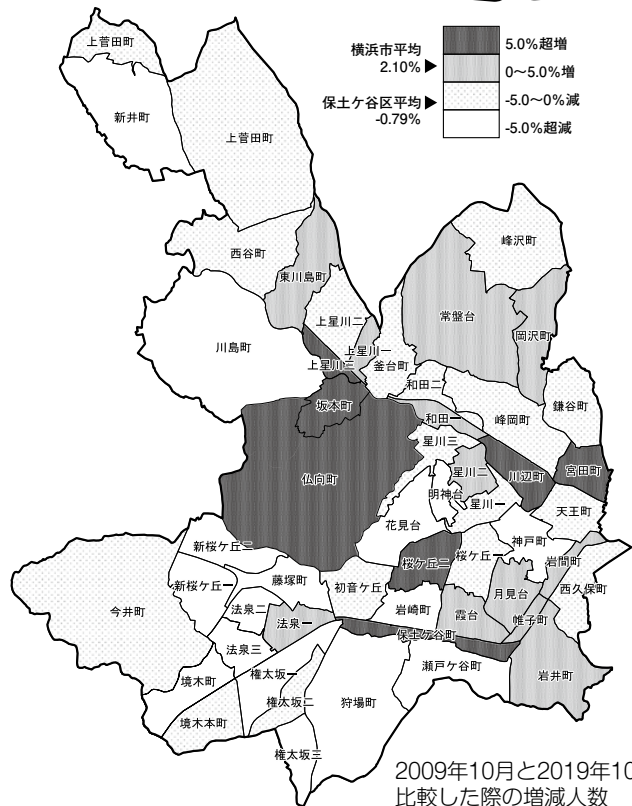
■増加率が高いTOP5

No.1	桜ヶ丘二丁目	34.71%
No.2	上星川三丁目	23.84%
No.3	川辺町	18.15%
No.4	坂本町	15.34%
No.5	保土ヶ谷町	14.39%

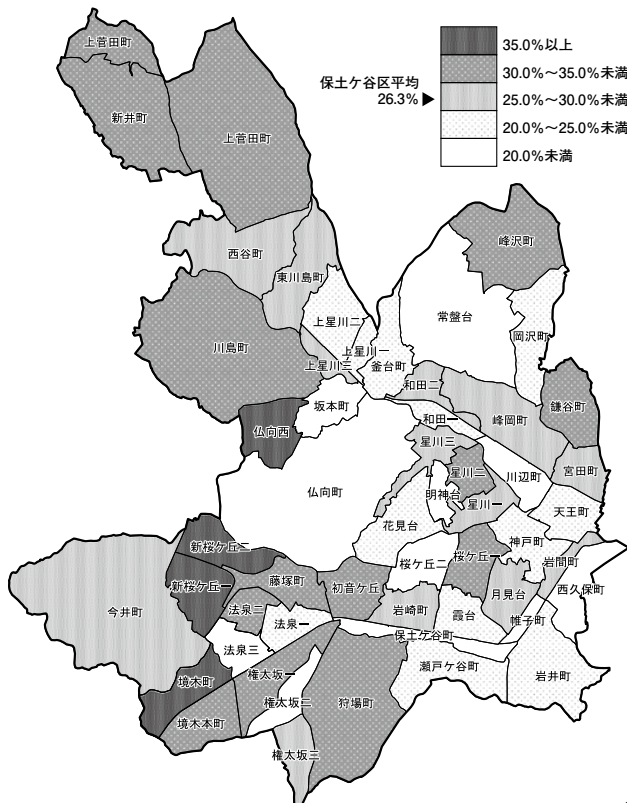
■減少率が高いTOP5

No.1	花見台	-14.34%
No.2	藤塚町	-12.06%
No.3	新井町	-11.73%
No.4	神戸町	-11.50%
No.5	新桜ヶ丘二丁目	-10.85%

※平成22年(2010年)12月に住居表示を実施した仏向西は仏向西町に含めています。



○区内に20年以上住んでいる人の割合



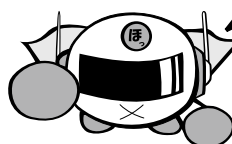
■割合が高いTOP5

No.1	新桜ヶ丘一丁目	44.0%
No.2	新桜ヶ丘二丁目	41.9%
No.3	境木町	40.3%
No.4	仏向西	36.9%
No.5	上菅田町	34.5%

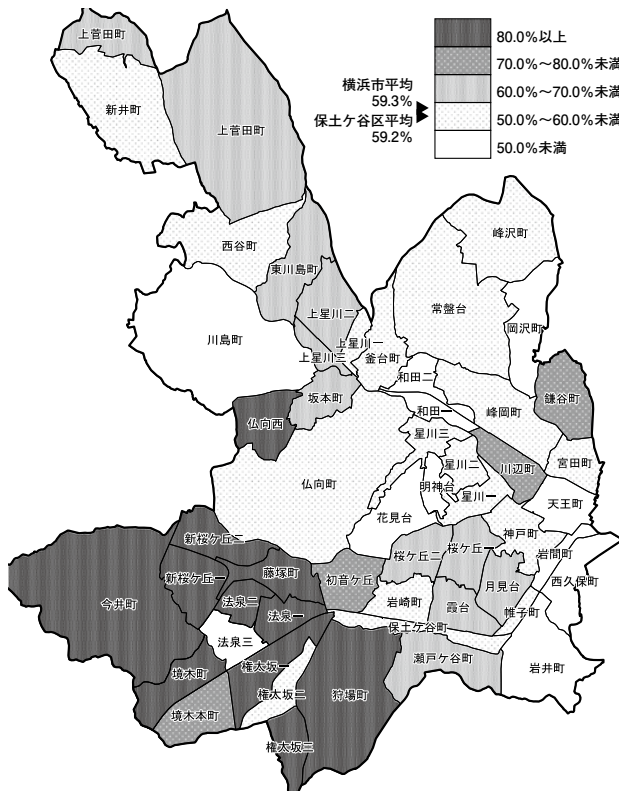
■割合が低いTOP5

No.1	明神台	8.4%
No.2	川辺町	9.3%
No.3	帷子町	12.5%
No.4	権太坂二丁目	15.6%
No.5	西久保町	16.7%

人口増減の地図と比較すると、地図の配色が反対になっている町もあります。(例：新桜ヶ丘一丁目や川辺町) 2つの地図を組み合わせることで、いつ頃人口が増えた町なのか読み取ることもできますね。



○持ち家世帯の割合



平成27年国勢調査結果より

■割合が高いTOP5

No.1	法泉一丁目	90.09%
No.2	境木町	90.08%
No.3	新桜ヶ丘一丁目	87.1%
No.4	仏向西	85.43%
No.5	新桜ヶ丘二丁目	85.38%

■割合が低いTOP5

No.1	明神台	1.7%
No.2	花見台	14.3%
No.3	天王町	29.3%
No.4	西久保町	36.2%
No.5	和田一丁目	38.1%



明神台は持ち家の割合が低いですね。理由は、明神台は地域の大部分を賃貸住宅が占めているからです。

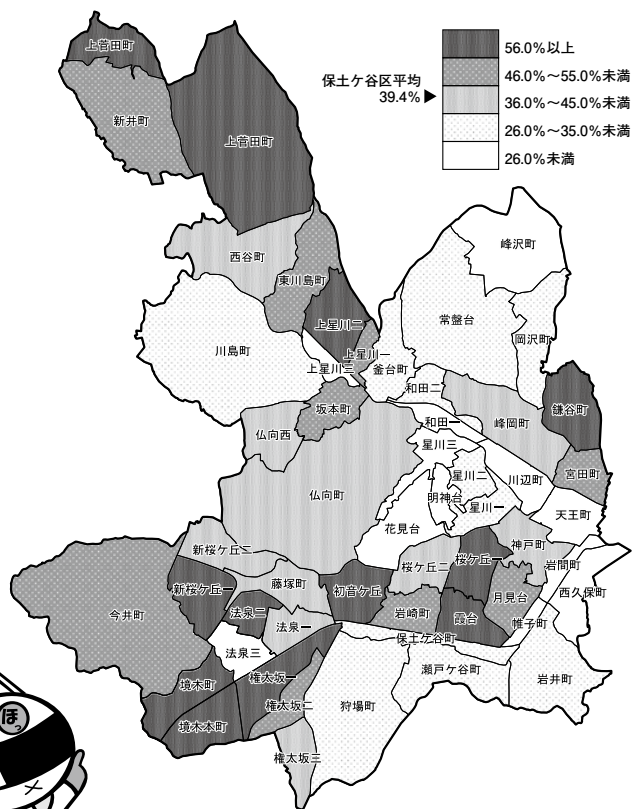
○区内住居の戸建ての割合

■割合が高いTOP5

No.1	境木町	95.3%
No.2	鎌谷町	69.6%
No.3	初音ヶ丘	69.2%
No.4	桜ヶ丘一丁目	66.4%
No.5	霞台	66.1%

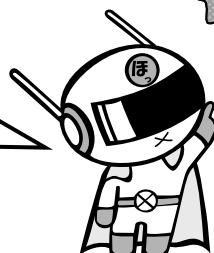
■割合が低いTOP5

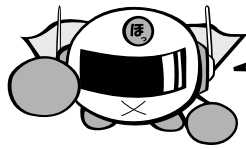
No.1	川辺町	1.5%
No.2	明神台	1.7%
No.3	天王町	9.5%
No.4	花見台	10.8%
No.5	帷子町	13.2%



平成27年国勢調査結果より

持ち家世帯と戸建て割合を組み合わせると、持ち家で戸建てが多い町(例：境木町や新桜ヶ丘一丁目)が読み取れますね。
住居に関する詳しい情報は、17ページをご覧ください。





ここからは年齢で各町の特徴を見てみましょう。
あなたの町にはどの年齢の人が多くですか？

○0～14歳の人口に占める割合

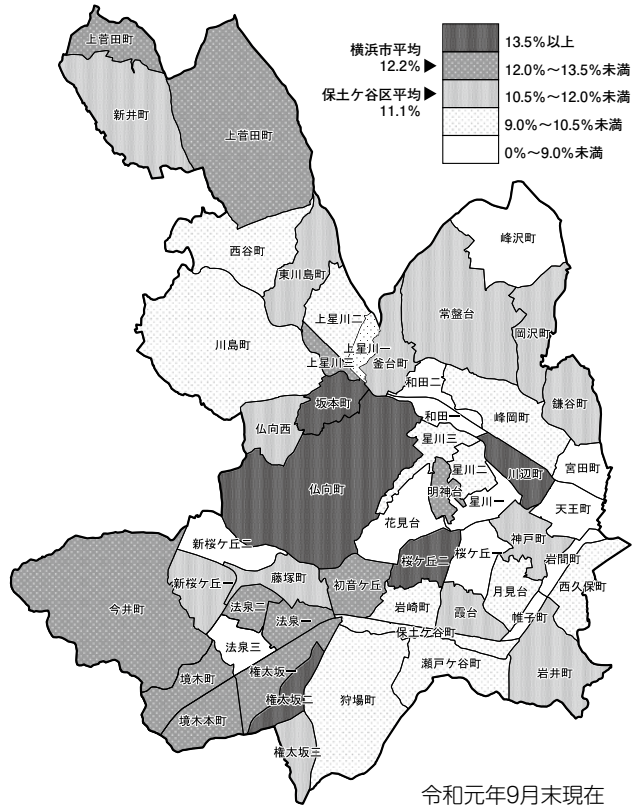
■割合が高いTOP5

No.1	榎太坂二丁目	16.8%
No.2	桜ヶ丘二丁目	16.3%
No.3	坂本町	15.1%
No.4	仏向町	14.0%
No.5	川辺町	13.7%

■割合が低いTOP5

No.1	岩間町	7.1%
No.2	花見台	7.6%
No.3	帷子町	8.21%
No.4	宮田町	8.22%
No.5	峰沢町	8.4%

※住民基本台帳に記載された人口と外国人登録人口の合計による。



令和元年9月末現在

○15～64歳の人口に占める割合

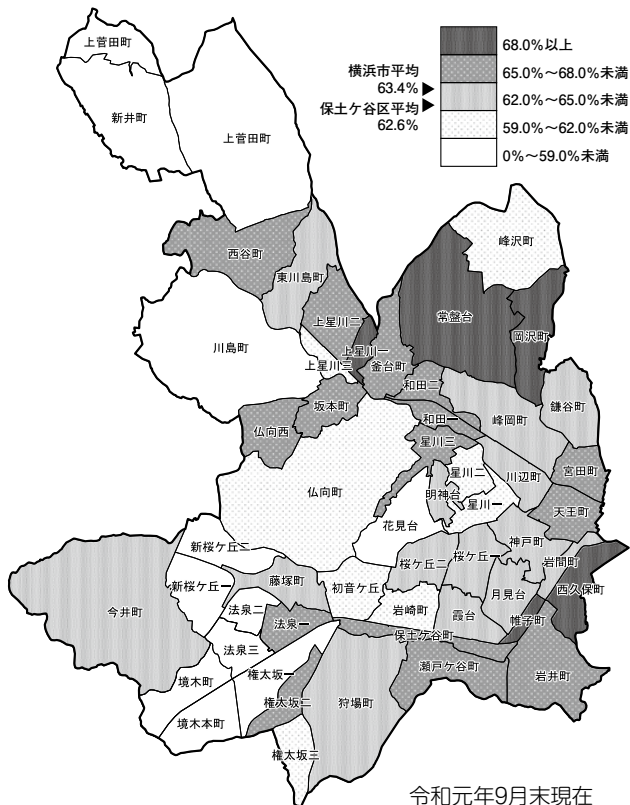
■割合が高いTOP5

No.1	上星川一丁目	72.7%
No.2	常盤台	70.65%
No.3	西久保町	70.59%
No.4	岡沢町	68.5%
No.5	帷子町	68.4%

■割合が低いTOP5

No.1	境木町	46.2%
No.2	花見台	47.7%
No.3	新桜ヶ丘一丁目	52.5%
No.4	新井町	53.7%
No.5	川島町	55.1%

※住民基本台帳に記載された人口と外国人登録人口の合計による。

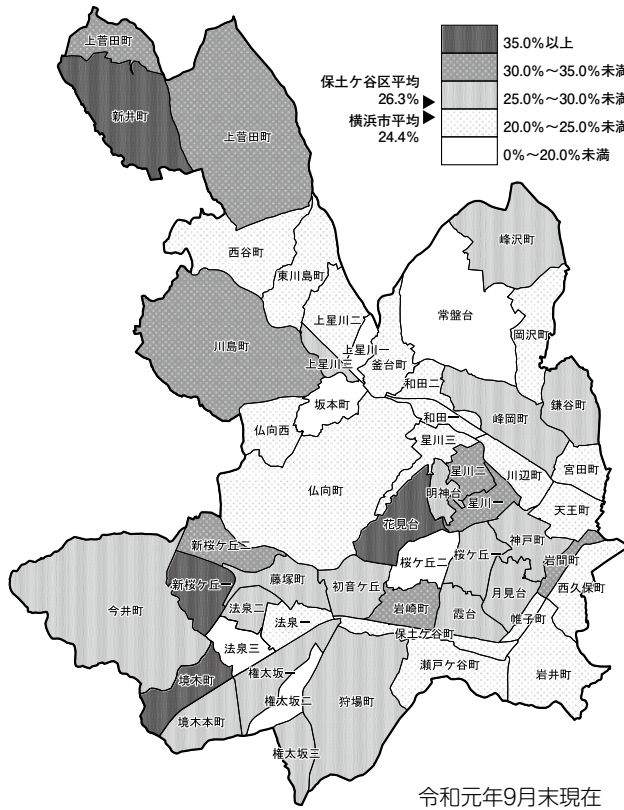


令和元年9月末現在

8～11ページのデータを組み合わせると町ごとの様々な特徴が視えてきます。例えば、8ページ「人口増減」で人口が増えている地域は、11ページで「平均年齢」が低くなっています。最近開発された地域で、子育て世代や働き世代である生産年齢人口が多いと考えられますね。(例：坂本町や桜ヶ丘二丁目)



○65歳以上の人口に占める割合



■割合が高いTOP5

No.1	花見台	44.7%
No.2	境木町	43.7%
No.3	新桜ヶ丘一丁目	36.8%
No.4	新井町	35.8%
No.5	川島町	34.5%

■割合が低いTOP5

No.1	権太坂二丁目	16.8%
No.2	上星川一丁目	17.0%
No.3	常盤台	18.4%
No.4	坂本町	18.7%
No.5	桜ヶ丘二丁目	19.4%

※住民基本台帳に記載された人口と外国人登録人口の合計による。

○町別の平均年齢

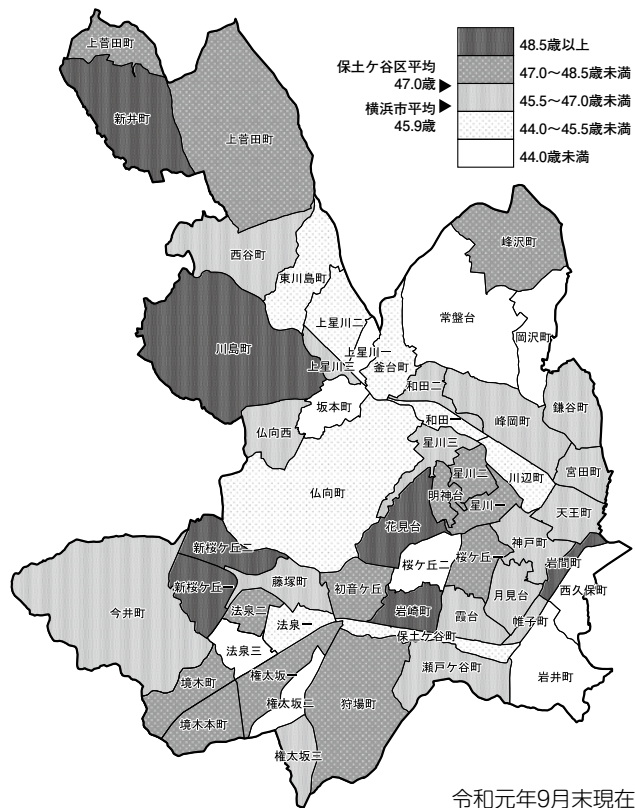
■平均年齢が高いTOP5

No.1	花見台	54.9歳
No.2	境木町	54.2歳
No.3	新井町	51.0歳
No.4	新桜ヶ丘一丁目	50.7歳
No.5	川島町	50.2歳

■平均年齢が低いTOP5

No.1	権太坂二丁目	40.7歳
No.2	坂本町	42.0歳
No.3	桜ヶ丘二丁目	42.4歳
No.4	常盤台	42.8歳
No.5	上星川一丁目	43.0歳

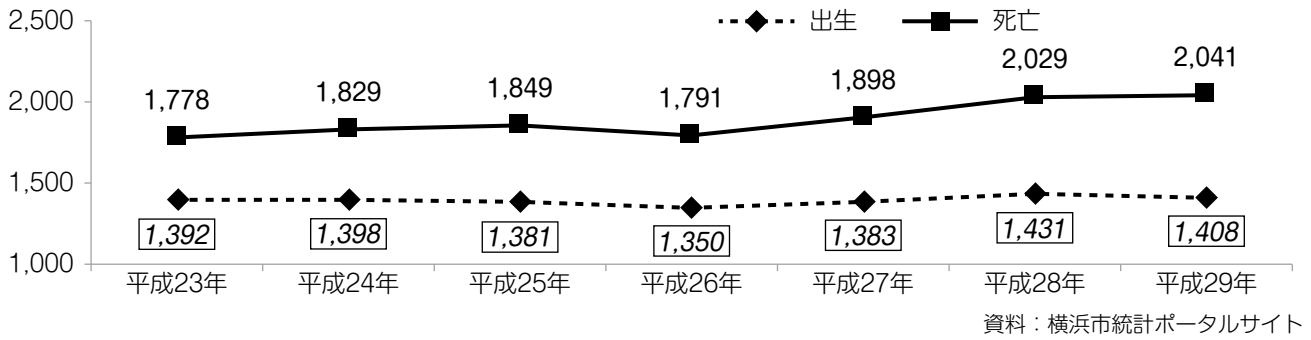
※住民基本台帳に記載された人口と外国人登録人口の合計による。



同じ保土ヶ谷区内でも各町で大きく違いがありましたね。
年齢三区分の詳しいデータは5ページをご覧ください。

2 人 口

○出生死亡の推移

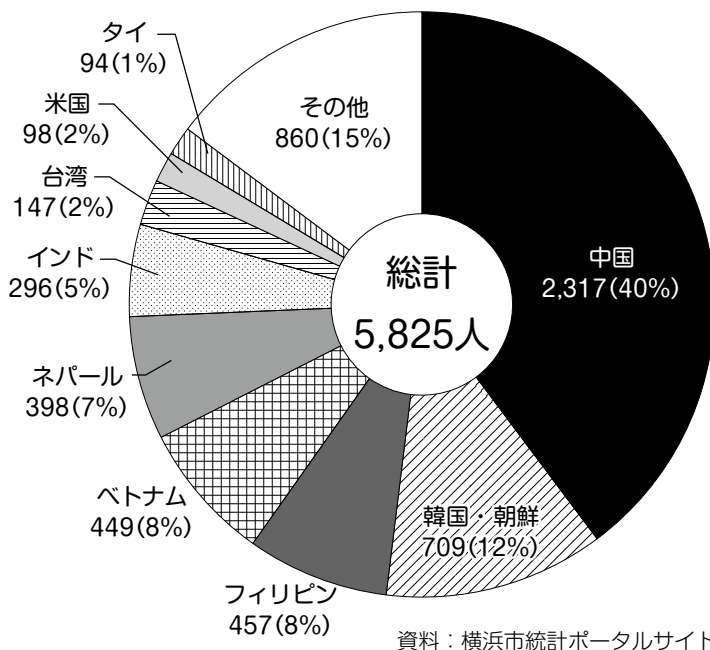


○国勢調査集計結果概要

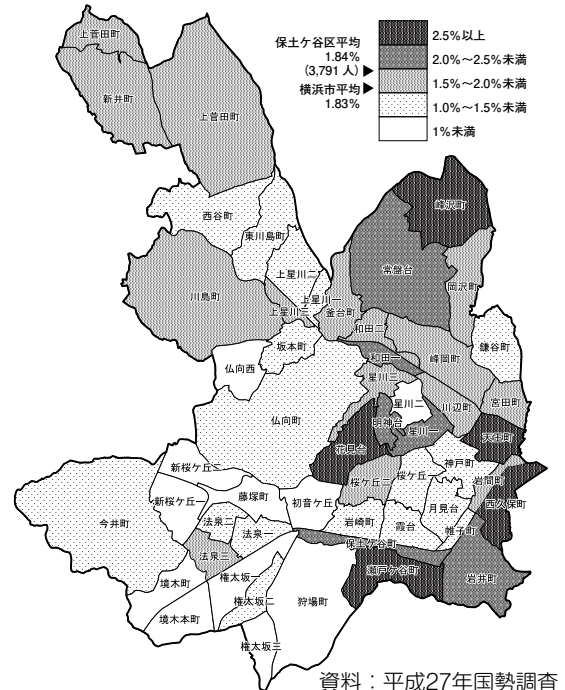
区 分	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	
総 人 口	197,435人	201,642人	204,266人	206,634人	205,493人	
男 性 人 口	100,130人	101,862人	102,717人	103,409人	102,381人	
女 性 人 口	97,305人	99,780人	101,549人	103,225人	103,112人	
夜 間 人 口(常住人口)	197,335人	201,498人	202,707人	206,634人	205,493人	
昼 間 人 口	156,022人	162,702人	164,348人	173,514人	174,863人	
昼 夜 間 人 口 比 率	79.1%	80.7%	81.1%	84.0%	85.1%	
外 国 人 人 口	1,634人	2,038人	2,666人	3,025人	3,791人	
平 均 年 齢	38.9歳	40.7歳	42.8歳	44.6歳	46.1歳	
男 性 平 均 年 齢	37.8歳	39.5歳	41.5歳	43.0歳	44.4歳	
女 性 平 均 年 齢	40.0歳	42.0歳	44.1歳	46.1歳	47.7歳	
年 齢 別 割 合	0～14歳	14.4%	13.5%	12.8%	12.2%	11.4%
	15～64歳	73.4%	71.1%	67.5%	65.6%	63.2%
	65歳以上	12.1%	15.4%	18.9%	22.2%	25.4%
世 帯 数	75,360世帯	81,313世帯	85,186世帯	90,076世帯	92,775世帯	
65歳以上の親族のいる世帯数	17,159世帯	21,689世帯	26,302世帯	30,131世帯	34,193世帯	

資料：国勢調査

○国籍別外国人数(令和元年12月末現在)

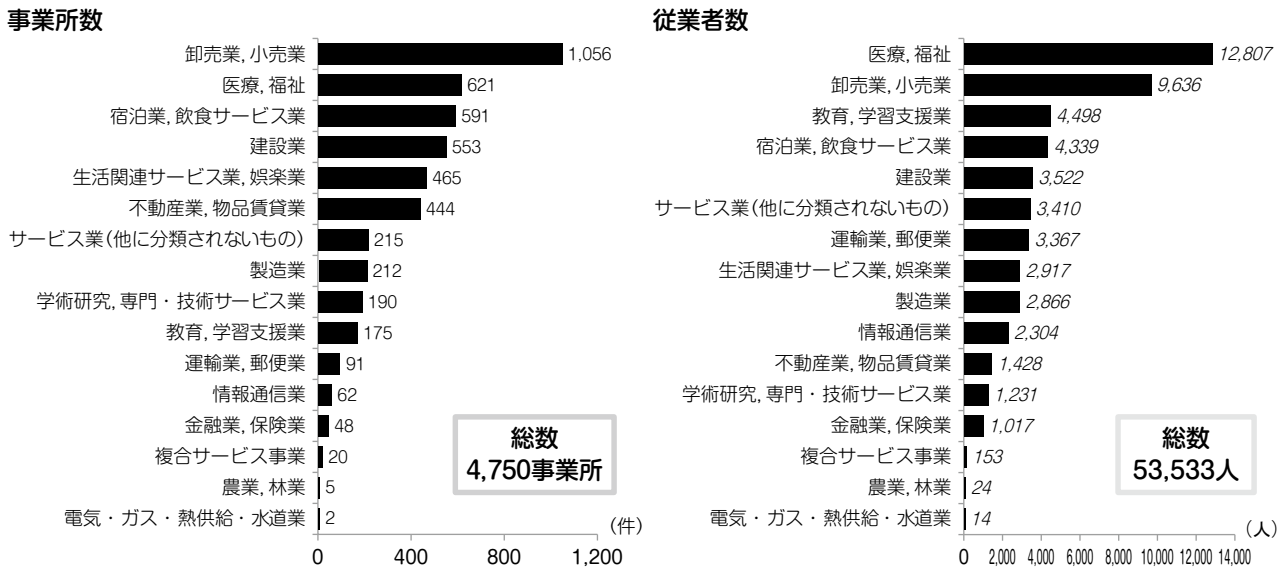


○町別外国人人口割合



3 地域経済 ～ 1. 事業所 ～

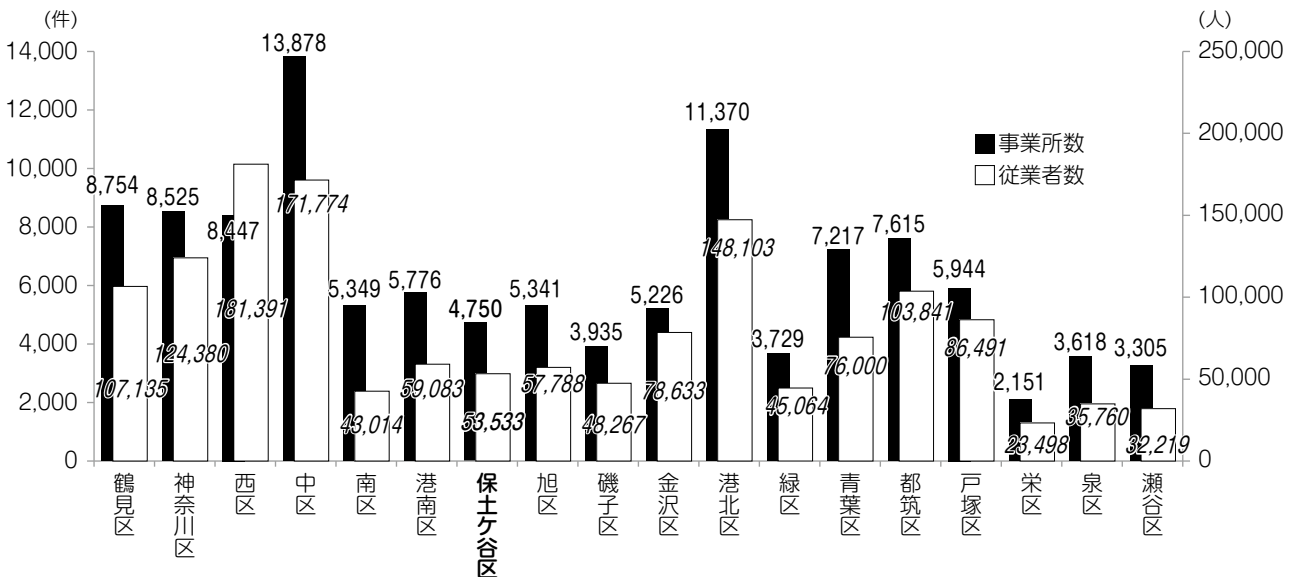
○産業大分類別事業所数・従業者数内訳(平成28年6月1日現在)



※公務を除く

資料：平成28年経済センサスー活動調査

○事業所数と従業者数(区別)



※公務を除く

資料：平成28年経済センサスー活動調査

○産業大分類別事業所数の推移

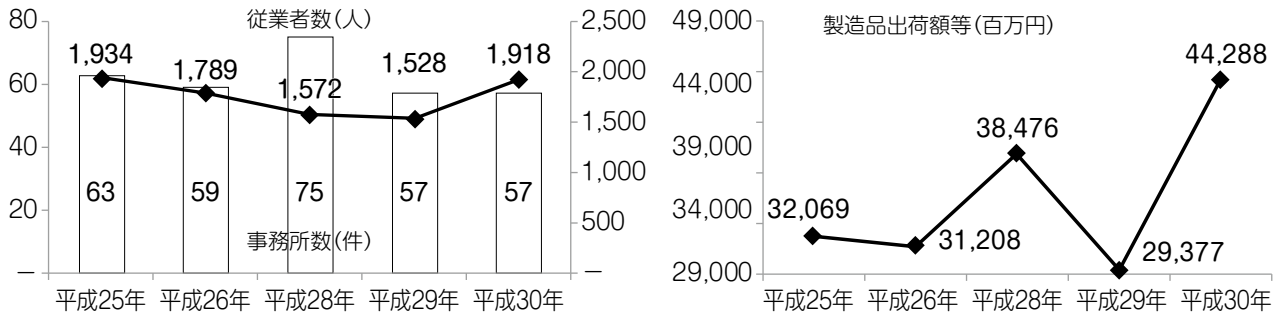
※民営事業所のみ

	平成8年	平成18年	平成24年	平成26年	平成28年
農業・林業・漁業・鉱業	3	4	4	5	5
建設業	613	514	594	565	553
製造業	349	235	266	225	212
電気・ガス・熱供給・水道業	5	6	4	3	2
情報通信業・運輸業	228	143	172	167	153
卸・小売・飲食・宿泊業	2,541	1,905	1,710	1,693	1,647
金融業・保険業	67	39	53	56	48
不動産業	430	449	480	501	444
サービス業・その他	1,685	1,557	1,598	1,648	1,686
合計	5,921	4,852	4,881	4,863	4,750

資料：平成24年・平成28年経済センサスー活動調査、平成26年経済センサスー基礎調査、事業所・企業統計調査

3 地域経済 ～ 2. 工業 ～

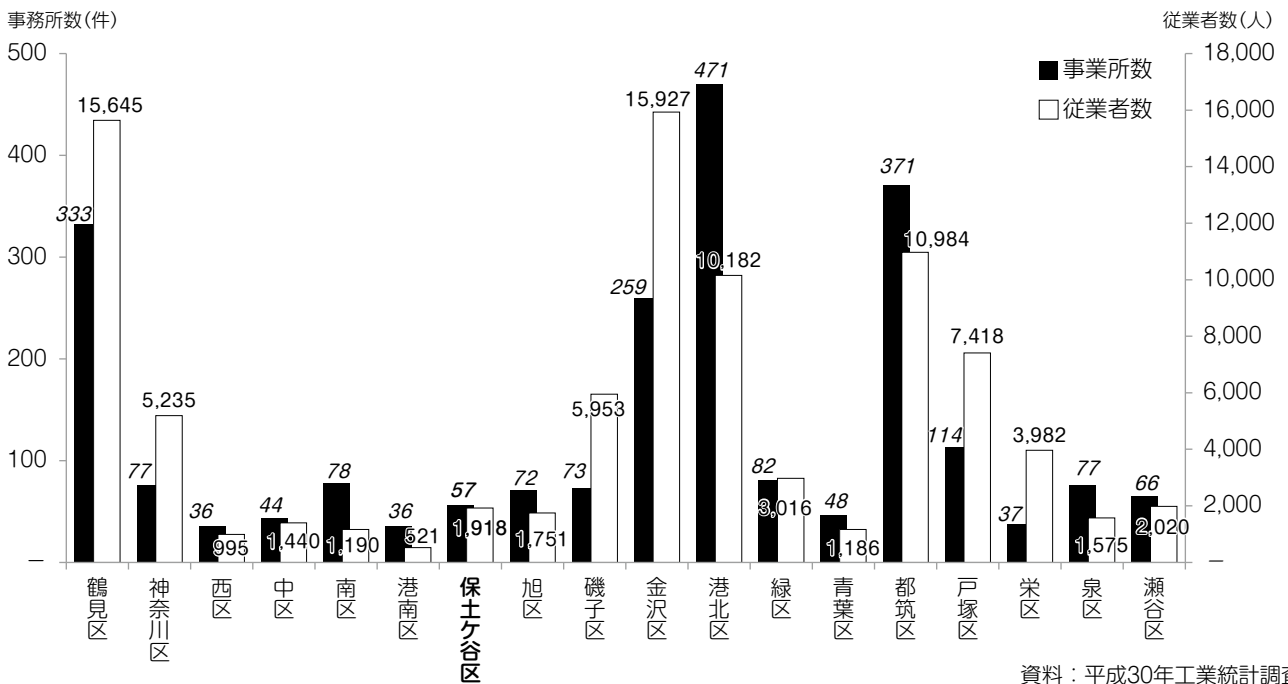
○事業所数・従業員数・製造品出荷額等の推移



※工業統計調査は、従業員4人以上の事業所を対象として実施しています。

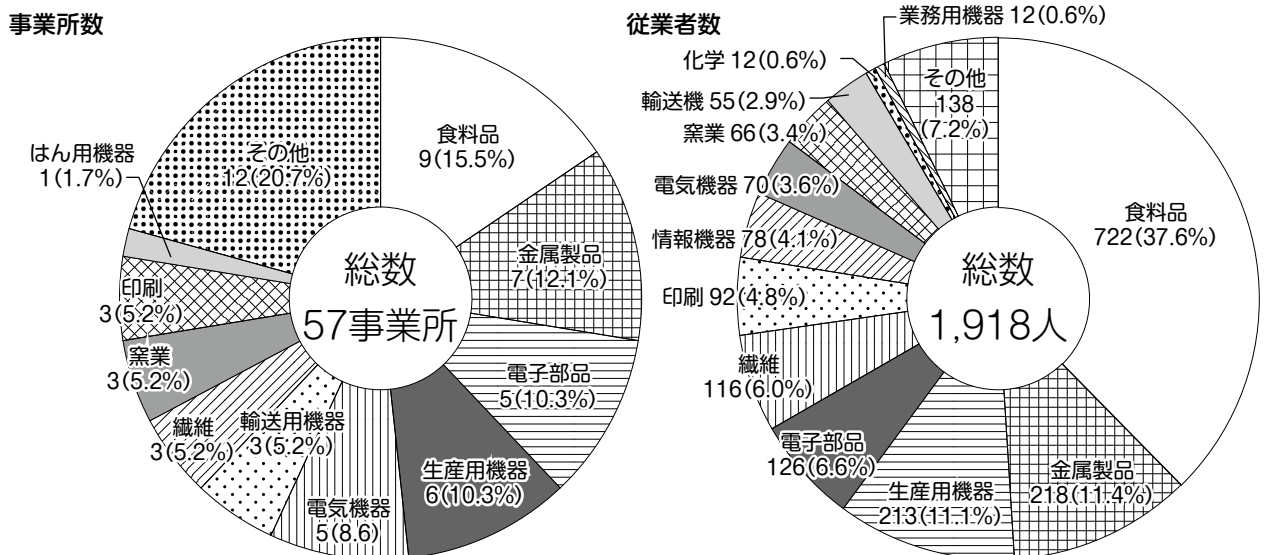
資料：平成30年工業統計調査

○事業所数・従業員数(区別) (平成30年6月1日現在)



資料：平成30年工業統計調査

○区内産業分類別事業所数・従業員数



資料：平成30年工業統計調査

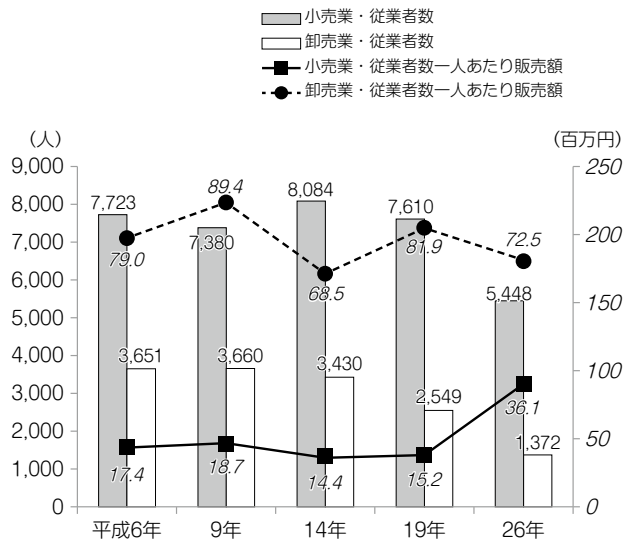
3 地域経済 ～ 3. 商業 ～

○ 商店数・従業者数・年間商品販売額(区別)

行政区	卸売業						小売業					
	商店数		従業者数		年間商品販売額(百万円)		商店数		従業者数		年間商品販売額(百万円)	
	平成19年	平成26年	平成19年	平成26年	平成19年	平成26年	平成19年	平成26年	平成19年	平成26年	平成19年	平成26年
横浜市	5,634	4,708	66,299	55,736	6,068,839	5,104,073	20,398	14,217	182,313	148,080	3,719,410	3,475,557
鶴見区	465	324	4,743	3,714	316,816	223,619	1,618	1,002	11,195	8,158	194,828	148,453
神奈川区	680	510	9,034	8,571	873,060	845,580	1,412	876	10,314	7,678	167,798	145,612
西区	418	364	7,211	4,971	1,050,678	765,353	1,583	1,289	17,536	14,922	661,108	634,252
中区	723	552	8,237	6,322	837,702	661,810	2,079	1,419	14,821	10,723	276,506	295,634
南区	327	228	2,512	1,420	93,666	56,793	1,248	741	7,614	5,218	107,697	82,509
港南区	182	148	1,790	1,049	126,636	46,809	1,131	809	12,441	9,907	279,415	216,403
保土ヶ谷区	191	168	2,549	1,372	208,819	99,447	966	617	7,610	5,448	115,812	196,789
旭区	189	159	1,594	1,278	107,256	85,917	1,032	704	9,601	7,431	157,000	136,485
磯子区	147	129	1,177	910	81,337	65,245	801	505	6,374	5,355	101,521	105,339
金沢区	308	298	3,553	2,970	352,209	272,916	1,073	656	10,317	7,353	179,476	134,580
港北区	632	555	9,662	8,998	1,056,113	1,034,145	1,554	1,186	14,278	12,825	299,358	266,762
緑区	138	138	1,416	1,293	114,134	79,574	734	492	7,440	5,878	123,567	106,193
青葉区	224	200	1,459	1,189	92,403	101,613	1,249	1,003	12,768	11,691	289,272	245,209
都筑区	388	390	4,677	5,842	343,497	377,047	1,236	897	12,684	11,694	270,551	278,225
戸塚区	246	202	3,105	2,930	210,579	228,466	1,037	871	11,814	11,335	213,506	242,854
栄区	91	88	575	446	26,087	21,639	377	274	3,688	2,978	69,246	59,662
泉区	122	103	1,113	810	53,935	41,948	616	432	6,362	5,381	113,774	102,793
瀬谷区	163	152	1,892	1,651	123,910	96,151	652	444	5,456	4,105	98,975	77,804

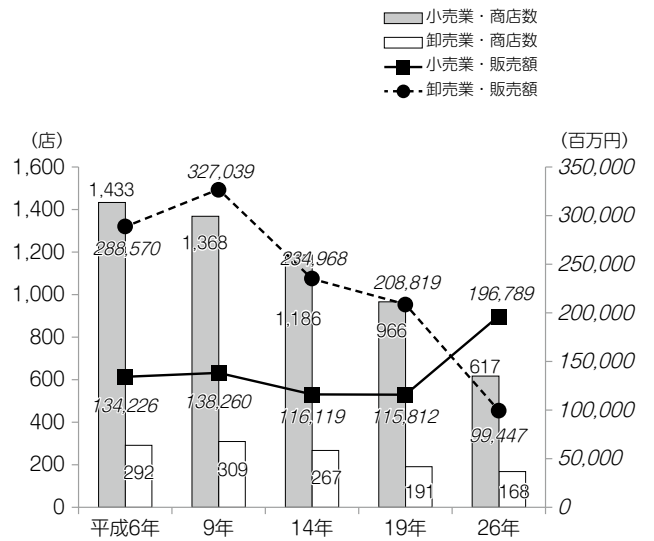
資料：商業統計調査

○ 卸売業・小売業の従業者数と一人あたり年間商品販売額の推移



資料：商業統計調査

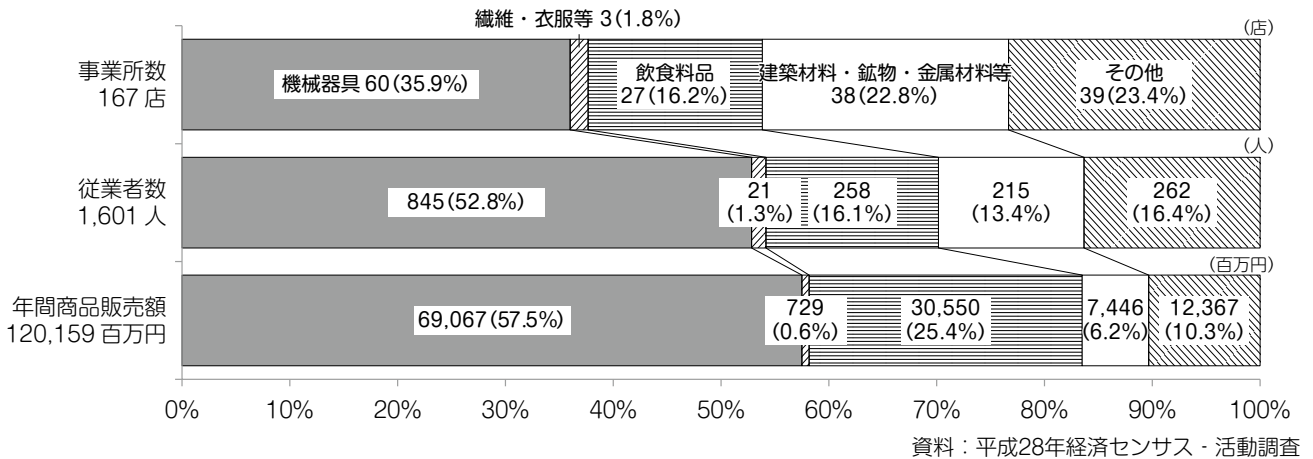
○ 卸売業・小売業の商店数と年間商品販売額の推移



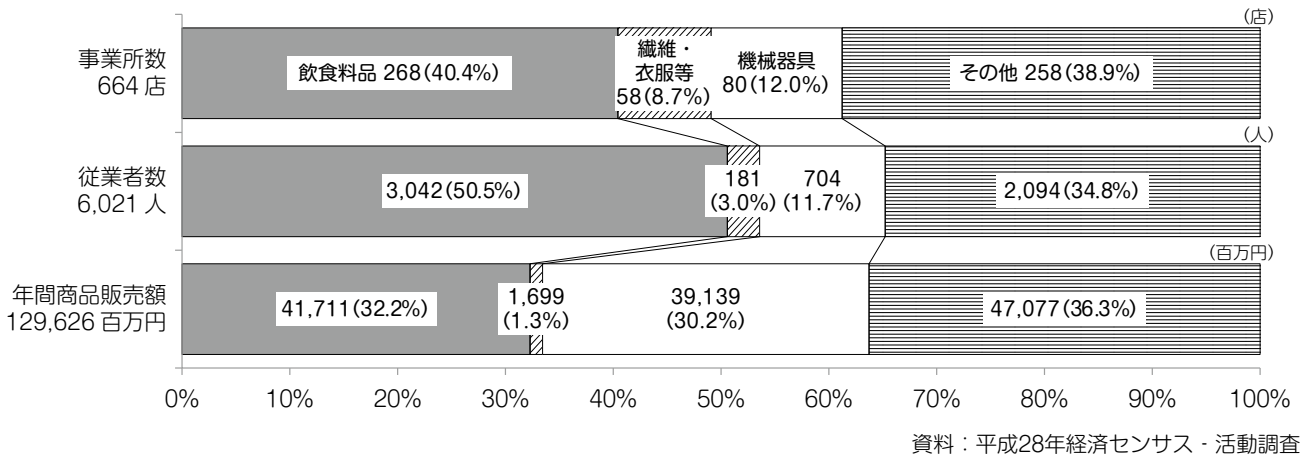
資料：商業統計調査

3 地域経済 ～ 3. 商業 ～

○卸売業の内訳 (平成28年6月1日現在)



○小売業の内訳 (平成28年6月1日現在)



3 地域経済 ～ 4. 農業 ～

○農家数及び経営耕地面積 (平成27年2月1日現在)

	農家数(戸)			経営耕地面積(アール)		
	総農家数	販売農家数	自給的農家数	総農家の保有する経営耕地面積	販売農家の保有する経営耕地面積	自給的農家の保有する経営耕地面積
横浜市	3,451	2,029	1,422	187,754	163,921	23,833
保土ヶ谷区	118	84	34	7,223	6,644	579

※1アール=100㎡

資料：2015年農林業センサス

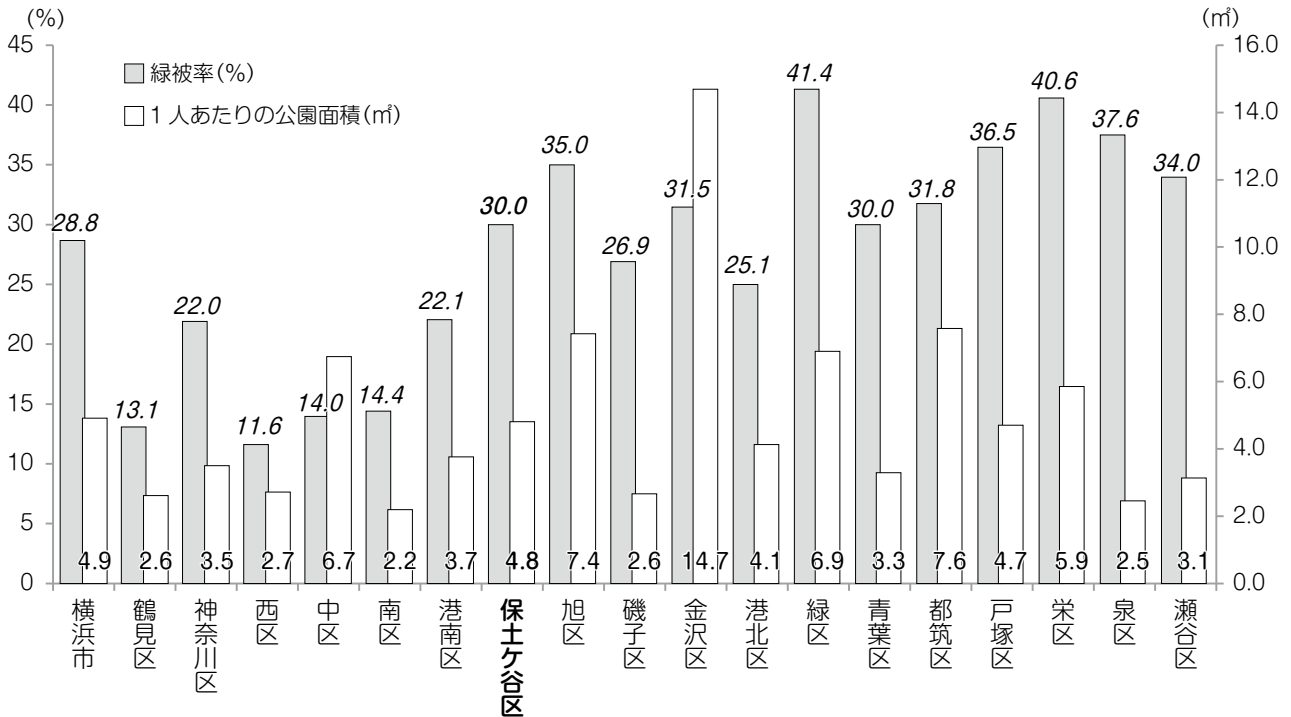
※「農家」とは経営耕地面積が10アール以上又は調査期日前1年間における農作物販売金額が15万円以上の世帯をいう。

※「販売農家」とは経営耕地面積が30アール以上又は調査期日前1年間における農作物販売金額が50万円以上の農家をいう。

※「自給的農家」とは経営耕地面積が30アール未満で、かつ、調査期日前1年間における農作物販売金額が50万円未満の農家をいう。

4 生活環境 ～ 1.公園～

○緑被率及び一人あたり公園面積(区別)



※緑比率とは、緑総量を把握する方法のひとつで、航空写真によって上空から見た時に緑におおわれている土地の割合を示している。

※緑被率は平成26年度現在

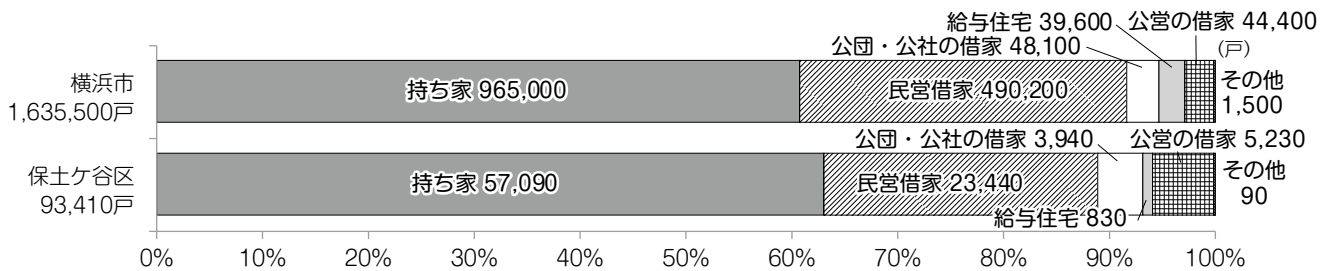
※公園面積は平成30年3月31日現在

※人口は令和元年12月1日現在

資料：横浜市統計ポータルサイト

4 生活環境 ～ 2.住宅～

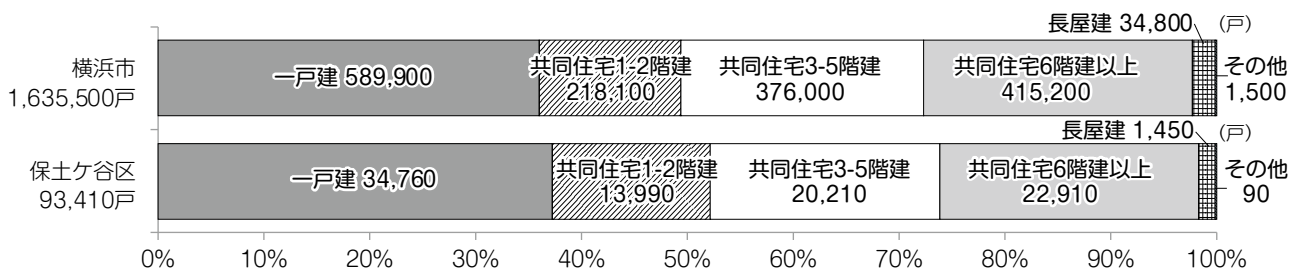
○所有関係別の専用住宅率(平成30年10月1日現在)



※小数点第1位以下の数値を四捨五入しているため、合計数値と合わない場合があります。

資料：平成30年住宅・土地統計調査

○建て方別の専用住宅比率(平成30年10月1日現在)



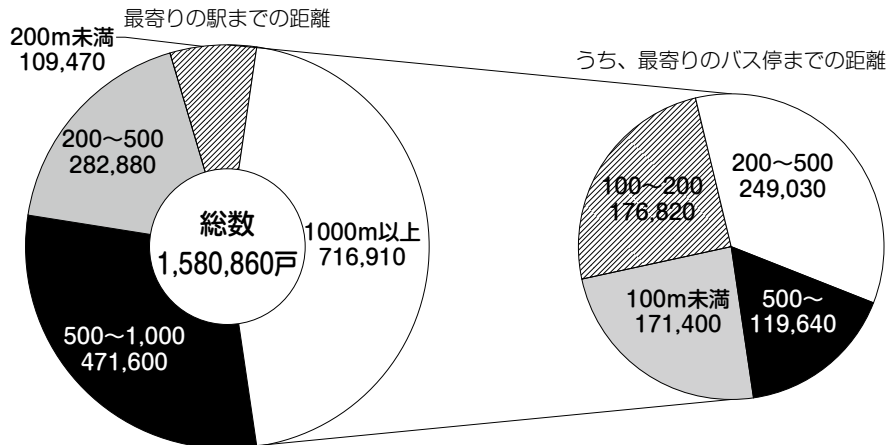
※小数点第1位以下の数値を四捨五入しているため、合計数値と合わない場合があります。

資料：平成30年住宅・土地統計調査

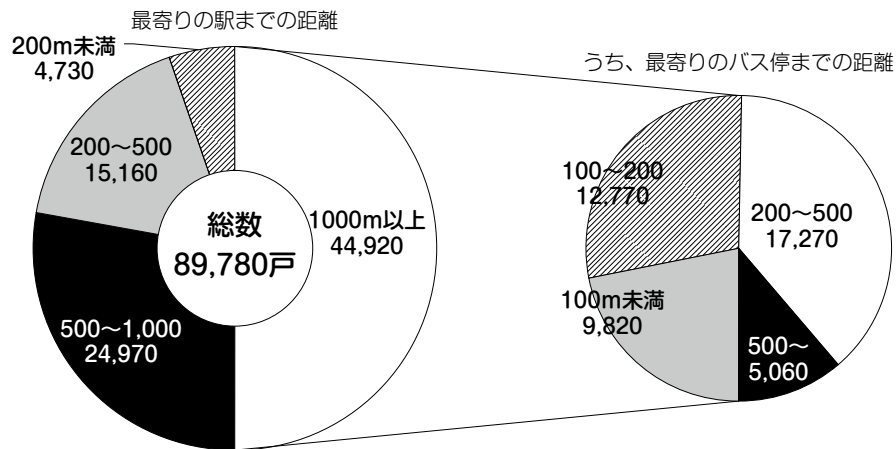
4 生活環境 ～ 2. 住宅 ～

○最寄駅までの距離(平成25年10月1日現在)

横浜市



保土ヶ谷区



資料：平成25年住宅・土地統計調査

4 生活環境 ～ 3. 交通 ～

○鉄道駅の1日平均乗車人員数/降車人員数の推移(単位：人)

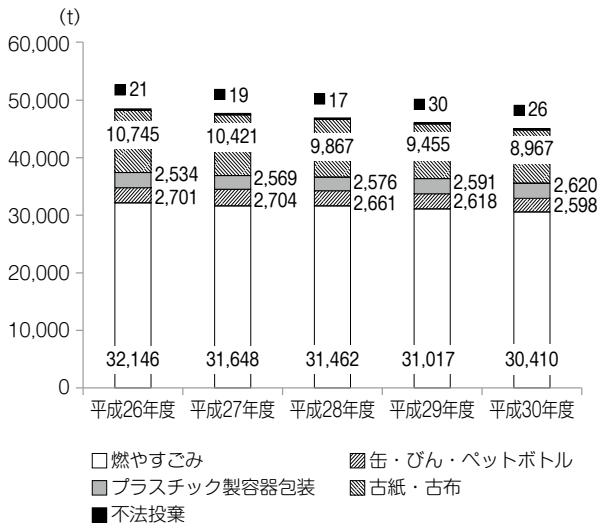
			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
相模鉄道	天王町	乗車人員	13,410	13,181	13,500	13,723	13,365	13,474
		降車人員	13,903	13,654	13,913	14,094	13,716	13,829
	星川	乗車人員	14,633	14,722	14,931	15,056	14,934	14,618
		降車人員	14,025	14,216	14,435	14,578	14,510	14,211
	和田町	乗車人員	7,988	7,965	8,099	8,575	8,963	9,036
		降車人員	8,232	8,175	8,317	8,783	9,153	9,195
	上星川	乗車人員	12,760	12,569	12,904	13,184	13,354	13,400
		降車人員	11,849	11,795	12,129	12,402	12,599	12,653
	西谷	乗車人員	11,702	11,426	11,529	11,447	11,456	11,512
		降車人員	12,271	11,768	11,869	11,761	11,752	11,784
参考(横浜)	乗車人員	211,708	208,076	210,688	212,051	213,875	214,348	
	降車人員	212,923	208,690	211,261	212,714	214,343	214,766	
JR 保土ヶ谷	乗車人員	32,764	32,422	33,001	33,613	34,035	34,365	
	降車人員	-	-	-	-	-	-	

資料：横浜市統計ポータルサイト

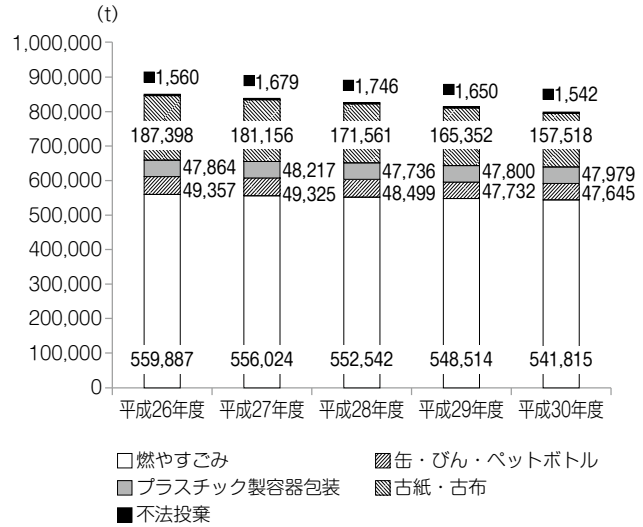
4 生活環境 ～ 4.ごみ・大気・河川～

○ごみの処分量の推移

保土ケ谷区

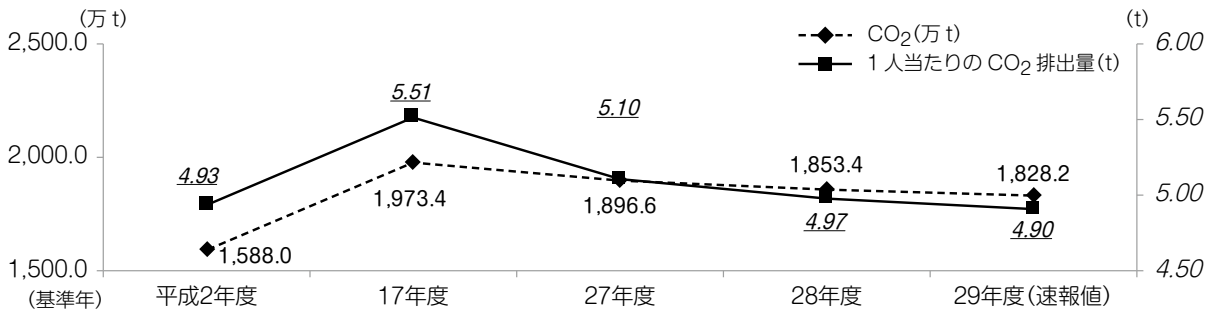


横浜市



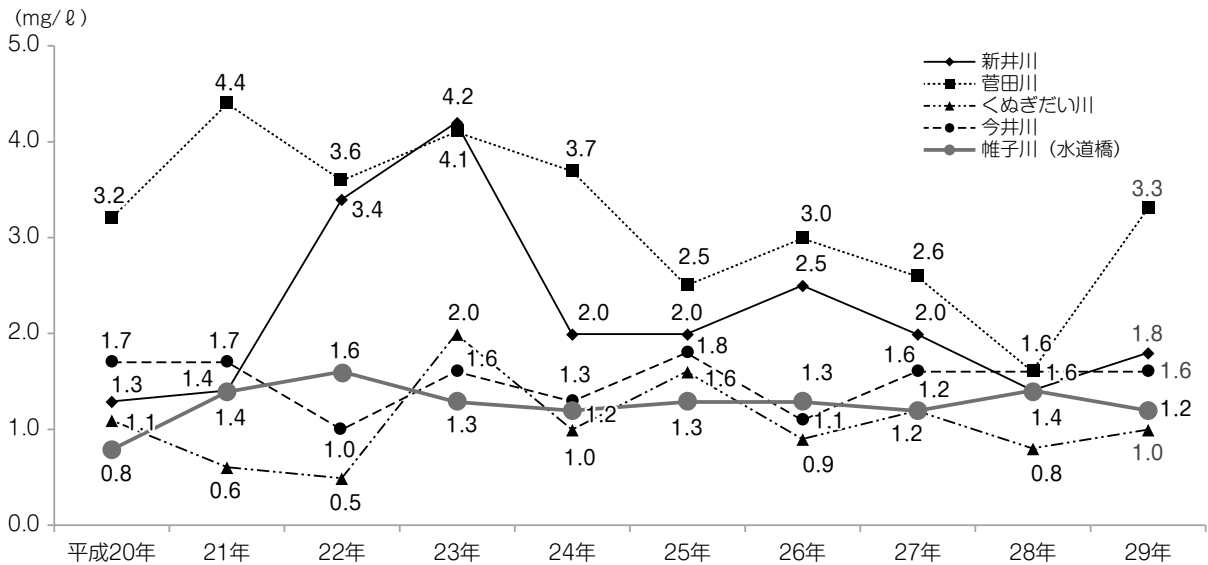
資料：資源循環局政策調整課

○二酸化炭素(CO₂)の排出量の推移(横浜市)



資料：温暖化対策統括本部ホームページ

○河川の水質(BOD濃度平均値)変化



資料：環境創造局ホームページ

※BODとは、「生物化学的酸素要求量」(BOD=Biochemical Oxygen Demand)。一般に、BODの数値が大きい場合は、微生物が酸素をたくさん消費して有機物を分解している状態、即ち、水中に存在する有機物の量が多いことを意味し、有機物による水質汚濁の程度が大きいこととなります。

※帷子川は、旭区で生まれ横浜駅東口まで、横浜を西から東に流れる全長約17km、流域面積約57km²の二級河川です。保土ケ谷区内の河川はすべて帷子川水系となります。

4 生活環境 ～ 5. 消防・警察 ～

○救急出動件数の推移

		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
救	急 件 数	9,748	10,071	10,144	10,640	11,209	
種別内訳	急 病	6,604	6,755	6,974	7,176	7,605	
	一 般 負 傷	1,692	1,741	1,693	1,902	2,009	
	交 通 事 故	683	719	700	701	684	
	そ の 他	769	856	777	861	911	
	その他内訳	加 害	71	46	53	44	76
		自 損 行 為	77	74	69	52	62
		転 院 搬 送	472	559	470	552	563
そ の 他		149	177	185	213	210	

資料：保土ヶ谷消防署

○火災件数の推移

		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
火	災 件 数(件)	44	45	37	41	34
出火原因	放 火(疑い含む)	13	10	10	11	5
	こ ん ろ	3	7	6	2	3
	た ば こ	6	7	4	7	4
	ス ト ー プ	2	3	3	1	0
	配 線 器 具	1	2	2	1	1
	そ の 他	19	16	12	19	21
焼 損 床 面 積(m ²)	441	895	239	158	55	
死 者(人)	0	1	2	1	0	
負 傷 者(人)	4	6	8	3	8	

※「こんろ」には、食用油加熱による出火も含まれます。

資料：保土ヶ谷消防署

○交通事故の推移

		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
事 故 件 数(件)		608	602	567	555	569	
発生場所	県 道	横浜生田線	9	9	6	4	6
		青砥上星川線	10	9	12	10	17
		保土ヶ谷停車場線	2	2	2	2	1
	市 道	環状1号(保土ヶ谷宮元)	30	31	21	6	7
		環状2号	32	56	35	45	61
		水道道	29	24	18	28	20
		本宿街道	24	13	18	14	0
		その他市道	268	257	235	226	262
	国 道	1号	94	99	115	110	102
		16号	110	102	105	110	93
死 者 数(人)	3	4	3	1	5		
傷 者 数 計(人)	707	700	659	660	692		

資料：保土ヶ谷警察署

○刑法犯罪発生件数の推移

		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
件 数(件)		1,296	1,149	1,124	965	804
内 訳	窃 盗 犯	925	858	798	664	534
	凶 悪 犯	7	8	2	6	6
	粗 暴 犯	104	95	87	61	63
	知 能 犯	86	78	94	74	76
	風 俗 犯	16	11	26	16	26
	そ の 他	158	99	117	144	99

資料：保土ヶ谷警察署

4 生活環境 ～ 5. 消防・警察 ～

○ 刑法犯罪発生件数の町別状況

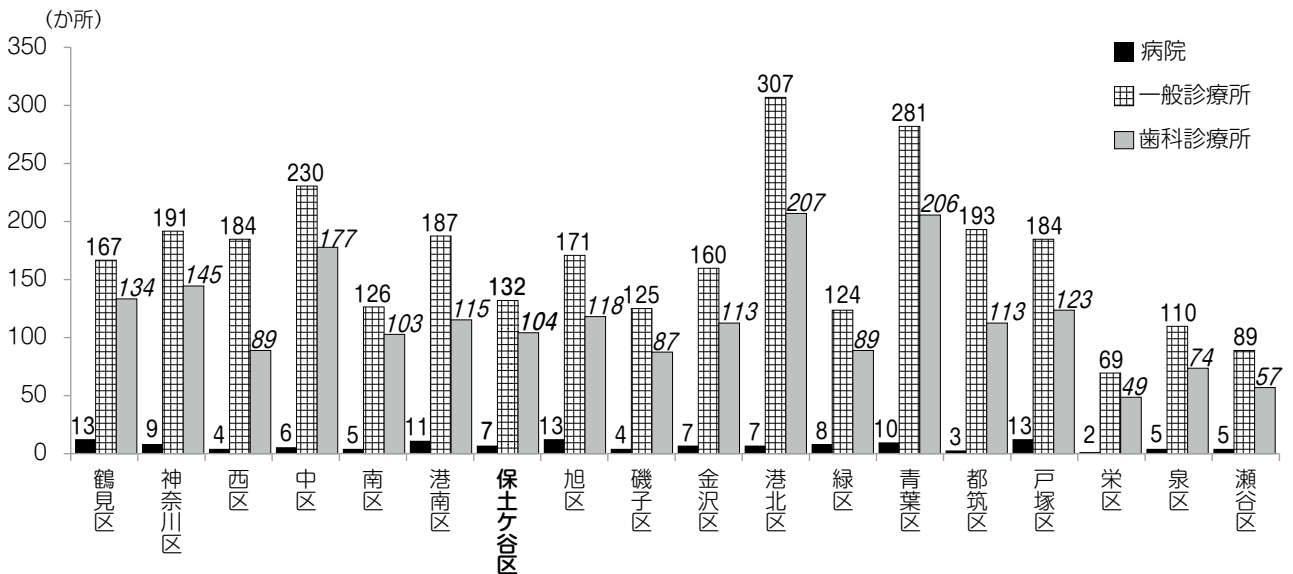
町名	件数		
	平成28年	平成29年	平成30年
新井町	22	22	29
今井町	42	29	18
岩井町	67	48	47
岩崎町	8	3	9
岩間町	13	6	7
岡沢町	26	18	12
霞台	6	10	3
帷子町	25	14	10
釜台町	11	19	21
鎌谷町	15	9	12
上菅田町	44	44	37
上星川一～三丁目	37	41	24
狩場町	52	44	44
川辺町	75	82	68
川島町	29	41	29
神戸町	52	15	13
権太坂一～三丁目	44	46	20
境木町	5	1	2
境木本町	21	8	8
坂本町	7	8	6
桜ヶ丘一・二丁目	12	15	10
新桜ヶ丘一・二丁目	40	43	26

町名	件数		
	平成28年	平成29年	平成30年
瀬戸ヶ谷町	18	21	10
月見台	11	4	5
天王町	48	34	22
常盤台	48	32	31
西久保町	17	12	7
西谷町	40	30	29
初音ヶ丘	4	5	9
花見台	7	7	9
東川島町	26	10	9
藤塚町	7	3	4
仏向町	45	61	46
仏向西	7	9	7
法泉一～三丁目	27	24	19
星川一～三丁目	48	31	43
保土ヶ谷町	15	15	14
峰岡町	23	26	20
峰沢町	21	23	16
宮田町	27	17	25
明神台	3	6	3
和田一・二丁目	29	29	21
合計	1,124	965	804

資料：保土ヶ谷警察署

4 生活環境 ～ 6. 医療 ～

○ 医療施設数(区別) (平成31年3月31日現在)

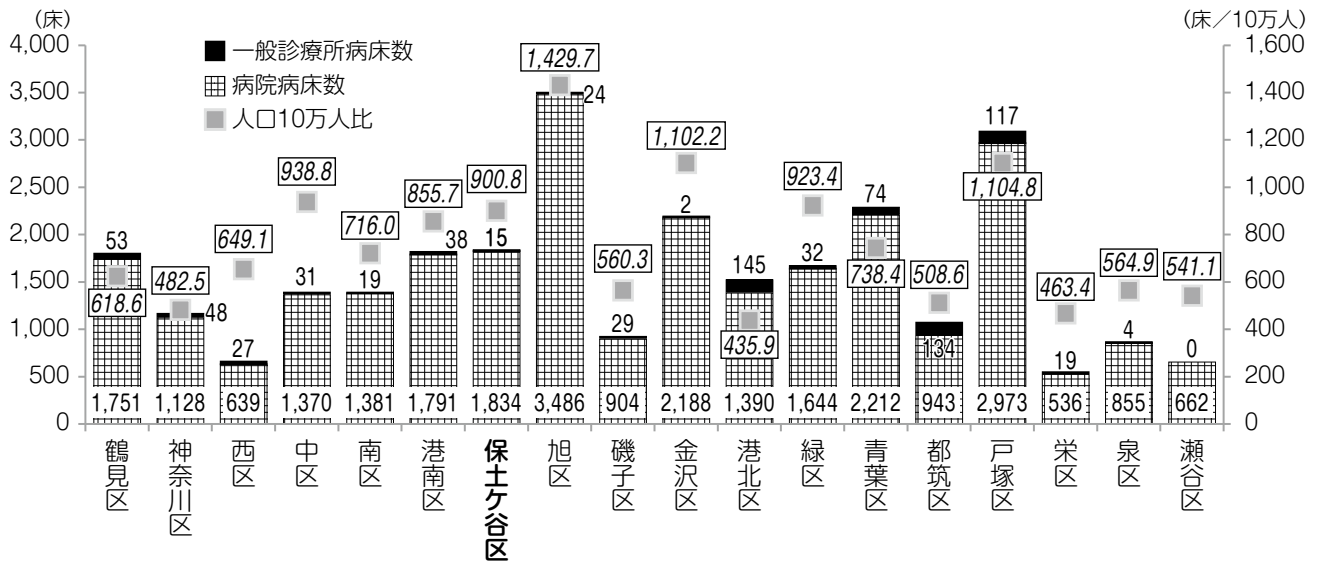


※施設数には休業中のものは含んでいません。

資料：健康福祉局医療安全課

4 生活環境 ～ 6. 医療 ～

○病床数と人口10万人比病床数(区別) (平成31年3月31日現在)



※人口は平成29年4月1日現在人口推計

※「人口10万人比」は「病院病床数」に対する値です。

資料：健康福祉局医療安全課

○がん検診の受診者数

(単位：人)

診名	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
胃がん検診	4,471	4,682	4,327	4,029	4,079
肺がん検診	2,851	3,505	3,723	3,852	5,679
大腸がん検診	9,820	10,356	8,573	8,273	8,430
乳がん検診	4,215	4,312	3,888	3,349	3,564
子宮がん検診	7,277	5,859	6,070	6,176	6,306

※子宮頸がん検診は20歳、乳がん検診は40歳の節目にクーポン券が配布されています。大腸がん検診は、平成31年度より無料になりました。

資料：保土ヶ谷区福祉保健課

○動物関係の相談等件数(平成30年度)

	件数
犬の登録数(年度末現在)	9,589
犬苦情受付件数	90
失踪犬などの問合せ	57
こう傷事故件数	4
猫苦情受付件数	42
失踪猫などの問合せ	60
その他飼育動物苦情受付件数	2
犬猫以外の失踪動物などの問合せ	9

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

※生後91日以上飼育犬には、登録(犬の生涯で1回)と年1回の狂犬病予防注射が義務付けられています。

○食品衛生関係許可等施設数(平成30年度)

		施設数
許可営業	飲食業	1,174
	販売業	504
	製造業	108
報告営業		1,196

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

○食中毒発生状況(平成30年度)

発生件数	2
患者数	4

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

4 生活環境 ～ 7. 衛生 ～

○害虫等苦情相談件数(年度：件)

	1位	2位	3位	その他	合計
平成26年度	ハチ 301	ネズミ 72	トコジラミ 14	69	456
平成27年度	ハチ 353	ネズミ 143	カ 15	73	584
平成28年度	ハチ 235	ネズミ 79	カ・ダニ・シラミ 21	38	373
平成29年度	ハチ 294	ネズミ 109	アリ 23	60	486
平成30年度	ハチ 434	ネズミ 151	哺乳類 21	68	674

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

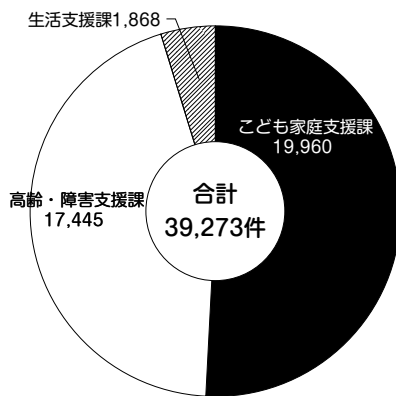
○環境衛生関係許可等施設数(平成30年度)

業種	施設数
旅館	4
興行場	2
公衆浴場	14
理容所	90
美容所	196
クリーニング所	83
プール	7
温泉	2
畜舎(犬)	2

資料：保土ヶ谷区生活衛生課

5 福祉保健 ～ 1. 生活保護 ～

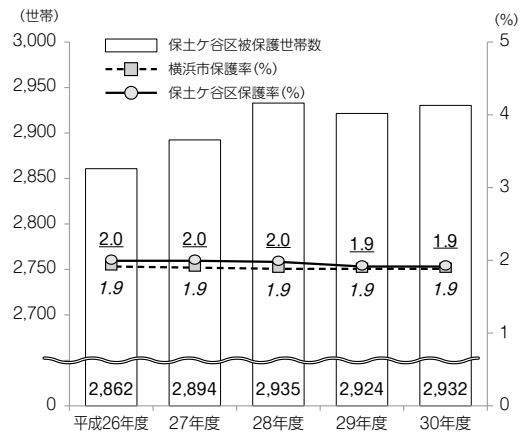
○福祉保健相談等内訳(平成30年度)



※平成28年度から集計方法が変わりました。

資料：保土ヶ谷区福祉保健課

○生活保護状況の推移(各年度)

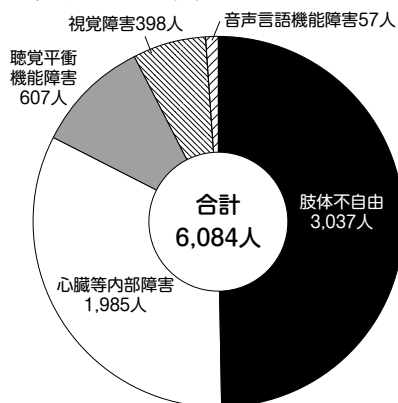


※保護率は、百分率(％、パーセント)で表示しています。たとえば、1.9%は、人口百人あたり、1.9人が生活保護を受けていることとなります。

資料：保土ヶ谷区生活支援課

5 福祉保健 ～ 2. 障害者・介護保険・高齢者 ～

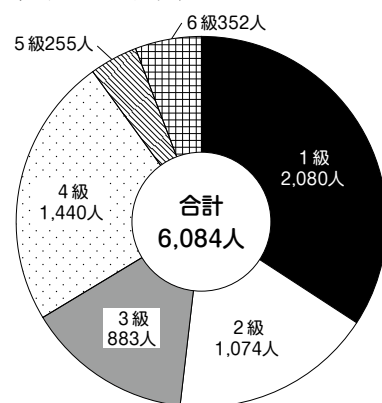
○身体障害者手帳所持者数 障害別(平成31年3月31日現在)



※身体障害者手帳は、視覚、聴覚、平衡機能、音声・言語またはそしゃく機能、肢体、心臓、じん臓、肝臓(H22.4.1追加)、呼吸器、ぼうこう又は直腸、小腸、免疫の各機能に永続する障害のある方を対象として交付され、障害の程度により1級から6級までに区分されます。

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

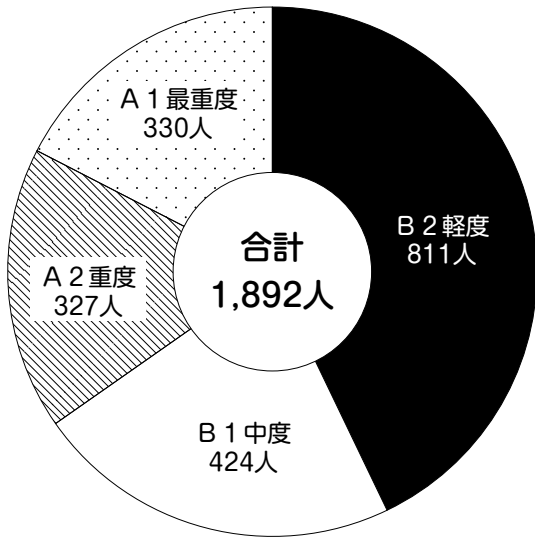
○身体障害者手帳所持者数 等級別(平成31年3月31日現在)



資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

5 福祉保健 ～ 2. 障害者・介護保険・高齢者 ～

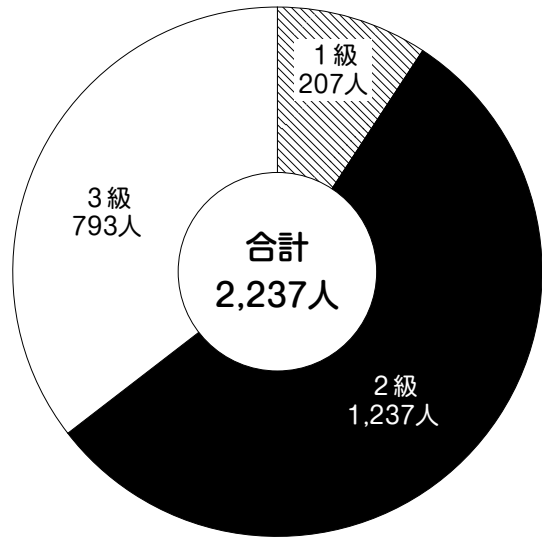
○愛の手帳所持者数 (平成31年3月31日現在)



※愛の手帳は、児童相談所または横浜市障害者更生相談所で知的障害と判定された方に交付され、障害の程度によって4段階に区分されます。

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

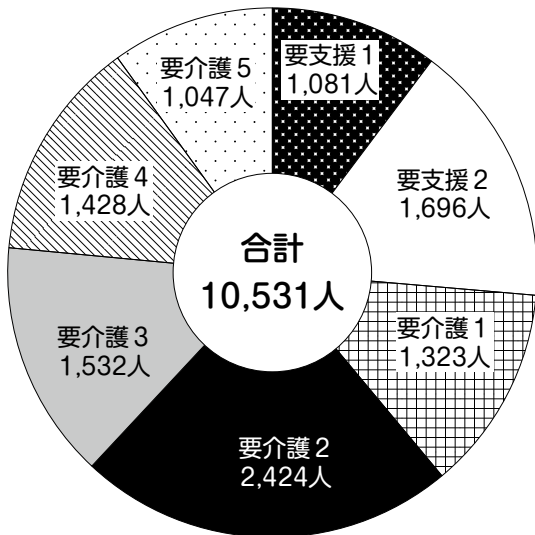
○精神障害者保健福祉手帳所持者数 (平成31年3月31日現在)



※精神障害者保健福祉手帳は、精神疾患を有し、精神障害のため長期にわたり日常生活または社会生活に制約のある方を対象として交付されます。障害の程度によって1級から3級までに区分されます。

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

○要介護認定者の状況(令和元年10月末現在)



※介護保険制度は、老後の大きな不安である「介護」を社会全体で支える仕組みです。介護保険サービスを利用するには、申請書を提出し、区役所で介護の必要性について認定を受ける必要があります。

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課

○老人福祉施設等整備状況(令和元年11月1日現在)

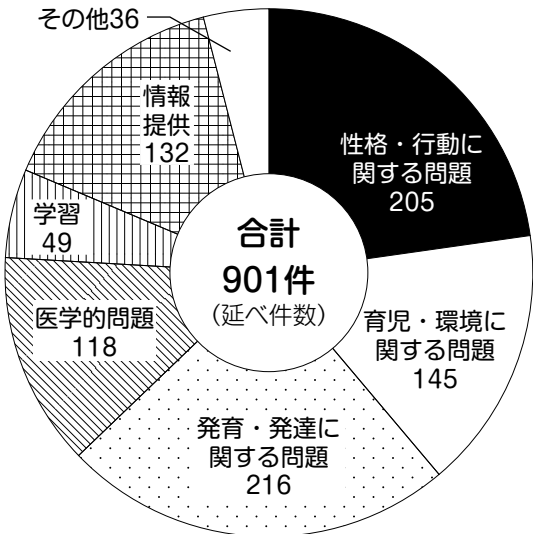
	保土ヶ谷区 (か所)
特別養護老人ホーム ※	12
養護老人ホーム ※	0
地域ケアプラザ	7
老人保健施設	5
介護療養型医療施設 ※	0
認知症高齢者グループホーム ※	15
小規模多機能型居宅介護 ※	10
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2
有料老人ホーム ※	17

※印は、入所施設

資料：保土ヶ谷区高齢・障害支援課
保土ヶ谷区福祉保健課

5 福祉保健 ～ 3. こども家庭 ～

○子ども・家庭支援相談状況 (平成30年度)



資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

○母子手帳交付数及び乳幼児健診の推移

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
母子手帳交付数(件)	1,695	1,691	1,580	1,638	1,471	
4か月児	受診者数	1,375	1,420	1,451	1,413	1,403
	受診率(%)	97.8	96.9	97.6	97.4	96.5
1歳6か月児	受診者数	1,412	1,429	1,522	1,474	1,395
	受診率(%)	96.0	99.3	97.9	97.4	97.2
3歳児	受診者数	1,446	1,418	1,541	1,420	1,471
	受診率(%)	98.0	97.0	97.7	95.2	96.0

資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

○児童扶養手当の支給状況

	平成30年度(件)
児童扶養手当	1,277

※児童扶養手当は、ひとり親家庭等の方に支給されます。
 ※所得制限等の支給要件があります。

資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

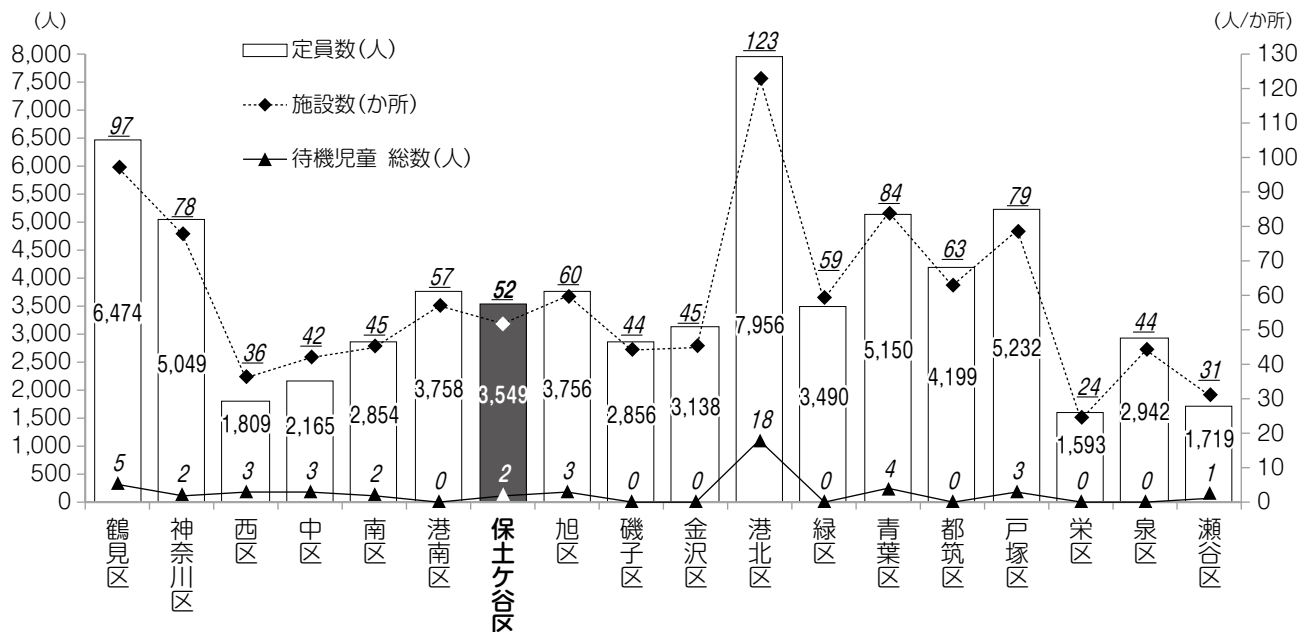
○認可保育施設・事業及び待機児童等の状況(推移)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
横浜市	施設・事業者数(所)	797	868	938	1,005	1,063
	定員数(人)	56,022	58,754	62,181	65,056	67,689
	待機児童数(人)	8	7	2	63	46
保土ヶ谷区	施設・事業者数(所)	41	44	47	50	52
	定員数(人)	3,013	3,156	3,372	3,441	3,549
	待機児童数(人)	0	0	0	3	2

※平成27年4月から保育所のほか、幼保連携型認定こども園、地域型保育(家庭的保育、小規模保育、事業所保育)を含みます。

資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

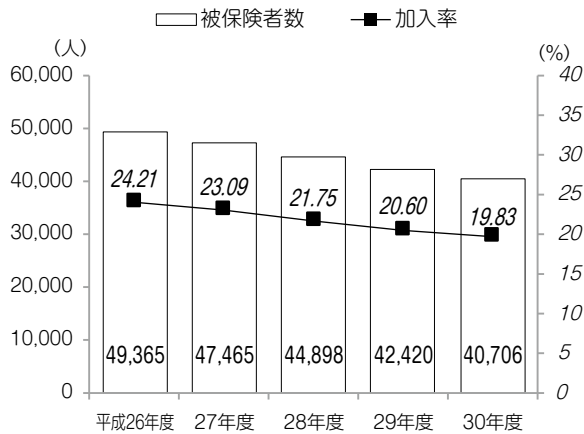
○認可保育施設数及び待機児童数等の状況(区別) (平成31年4月1日現在)



資料：保土ヶ谷区こども家庭支援課

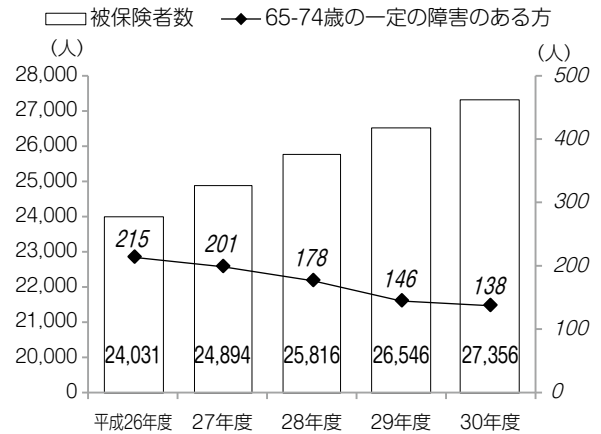
6 保険・年金

○国民健康保険被保険者数の推移



※加入率は被保険者数を推計人口で除しています。
資料：保土ヶ谷区保険年金課

○後期高齢者医療制度被保険者数の推移



※65歳～74歳の一定の障害のある方は、20年度から、加入する健康保険について、「後期高齢者医療制度」又は「国民健康保険や会社等で入る健康保険」どちらかを選択することが可能となりました。

資料：保土ヶ谷区保険年金課

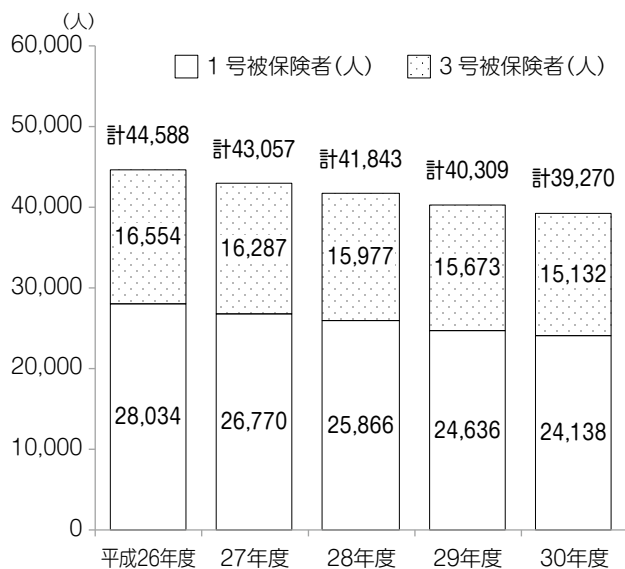
○国民年金受給者数の推移

(単位：人)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
(拠出年金)					
老齢年金・老齢基礎年金	44,529	45,914	46,916	48,623	49,846
障害年金・障害基礎年金	1,109	1,160	1,202	1,212	1,216
母子年金・遺族基礎年金	266	304	314	301	303
寡婦年金	20	22	24	24	22
(無拠出年金)					
老齢福祉年金	1	1	1	0	0
障害基礎年金	1,721	1,765	1,796	1,854	1,876
総計	47,646	49,166	50,253	52,014	53,263

資料：保土ヶ谷区保険年金課

○国民年金被保険者数の推移



※1号被保険者……自営業・自由業・農林漁業・学生・無職の方などで20歳以上60歳未満の方(任意加入被保険者は除く)

※3号被保険者……厚生年金や共済年金の加入者の被扶養配偶者で20歳以上60歳未満の方

資料：保土ヶ谷区保険年金課

7 教育

○学校等の状況(令和元年5月1日現在)

区分	学校等の種類							
	小学校	中学校		高等学校		特別支援学校	幼稚園	専修学校
	公立	公立	私立	公立	私立	公立	私立	私立
学校数	21	9	1	4	1	3	16	2
幼児・児童・生徒数(人)	9,106	4,229	-	3,506	1,321	622	2,955	503
本務教員数(人)	530	272	-	244	68	392	228	28

※幼稚園には、幼保連携型こども園を含みます。

資料：平成30年度学校基本調査

○児童・生徒数(令和元年5月1日現在)

小学校			
新井	360	笹山	75
今井	349	瀬戸ヶ谷	487
岩崎	338	常盤台	649
帷子	296	初音が丘	636
上菅田	831	藤塚	294
上星川	497	富士見台	630
川島	422	仏向	499
権太坂	480	星川	383
坂本	651	保土ヶ谷	269
桜台	486	峯	474
合計	9,106		

中学校	
新井	262
岩井原	332
岩崎	726
上菅田	306
橘	704
西谷	623
保土ヶ谷	909
宮田	367
合計	4,229

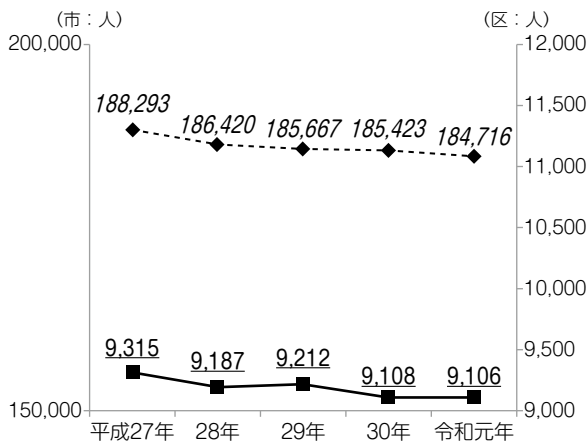
高等学校	
県立光陵高	949
県立商工高	673
県立保土ヶ谷高	938
市立桜丘高	946
横浜清風高	1,321
合計	4,827

※新井小・中学校桜坂分校含む

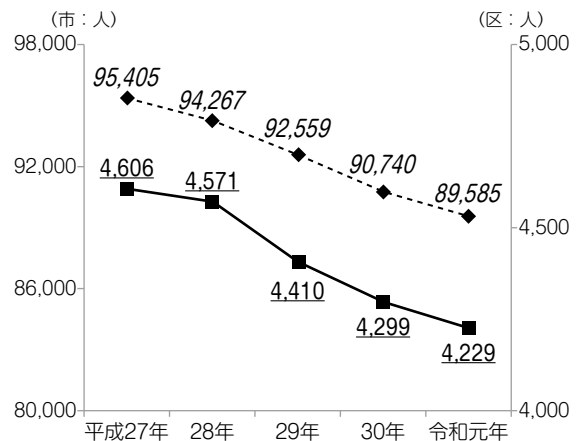
資料：令和元年度市立学校現況／令和元年度学校基本調査

○小・中・高の児童数及び生徒数の推移

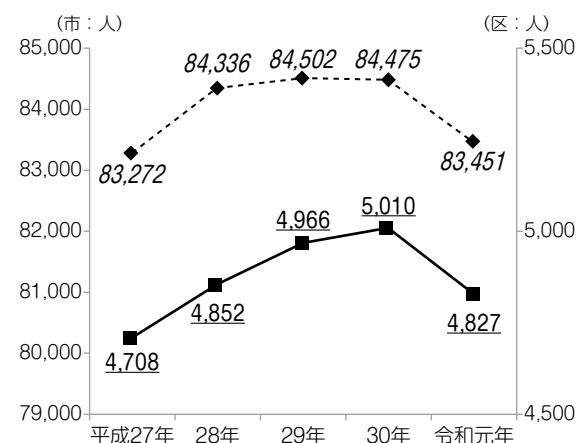
児童数の推移



生徒数(中学校)の推移



生徒数(高等学校)の推移



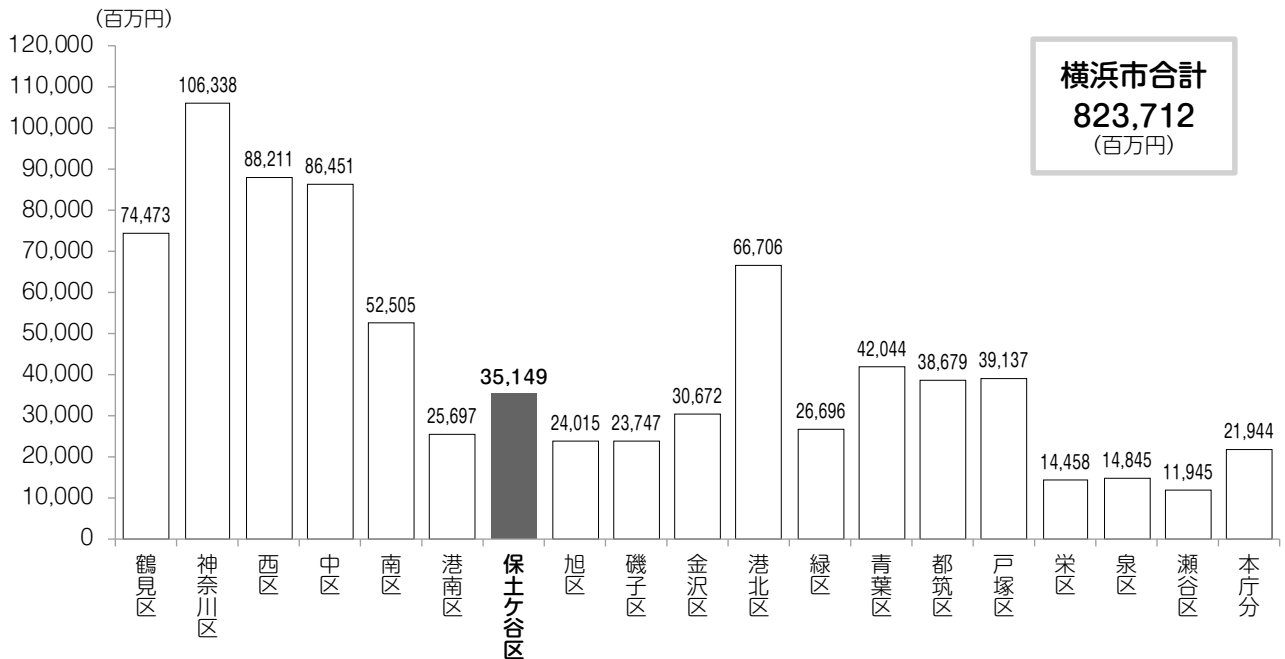
---◇--- 全市 —■— 保土ヶ谷区

※生徒数は、公立、私立を合わせた総数です。

資料：平成26～30年度学校基本調査

8 市 税

○市税収入状況(区別) (平成30年度)



資料：保土ヶ谷区税務課

○税目別収入状況(横浜市) (平成30年度)

税目	税額(千円)
個人市民税	388,789,991
法人市民税	62,042,107
固定資産税	272,759,310
軽自動車税	2,818,968
市たばこ税	20,903,979
入湯税	79,391
事業所税	18,118,732
都市計画税	58,207,209

資料：保土ヶ谷区税務課

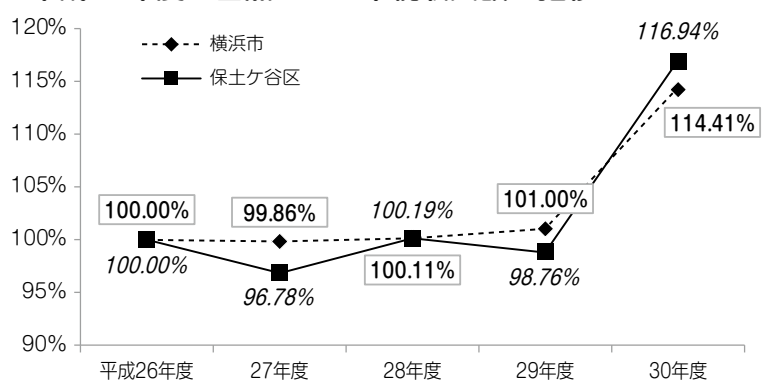
○市税収入額の推移 (単位：千円)

年度	横浜市	保土ヶ谷区
平成25年度	707,362,294	29,264,572
平成26年度	719,971,635	30,058,701
平成27年度	718,962,857	29,089,781
平成28年度	720,759,940	30,115,148
平成29年度	727,141,075	29,686,091
平成30年度	823,719,689	35,149,488

資料：保土ヶ谷区税務課

※30年度に税収が大きく増えた理由は、県費負担教職員の給与負担等が、本市に移管されたことに伴う税源移譲によるものです。

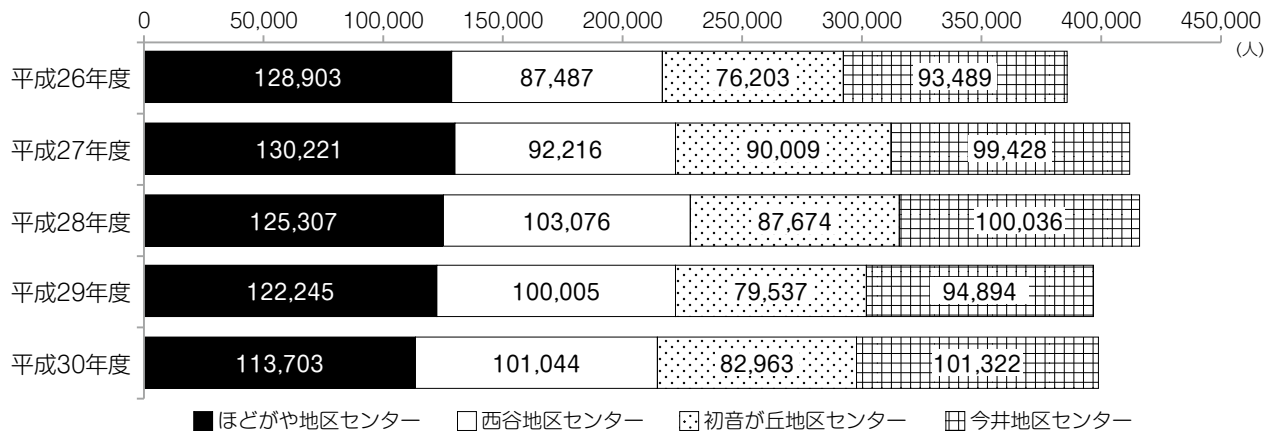
○平成26年度を基点とした市税収入額の推移



資料：保土ヶ谷区税務課

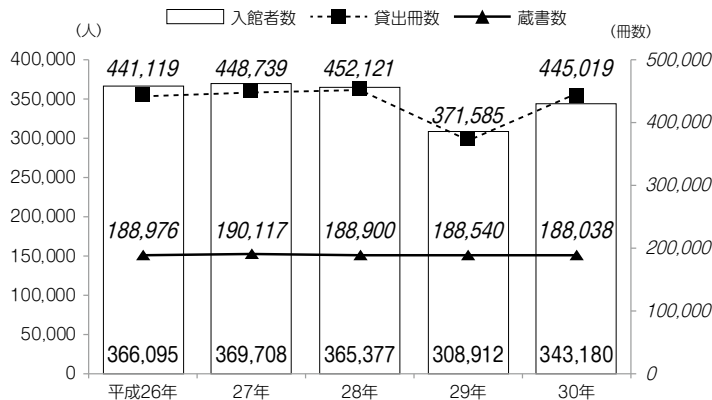
9 市民利用施設

○地区センター利用者数の推移



資料：保土ヶ谷区地域振興課

○保土ヶ谷図書館の利用状況等の推移



※貸出冊数は、貸出延長による貸出冊数を含む。資料：保土ヶ谷図書館
※蔵書数は、個人貸出用・団体貸出用の合計。

○貸出しベスト5 (2019年1月～12月)

■一般書

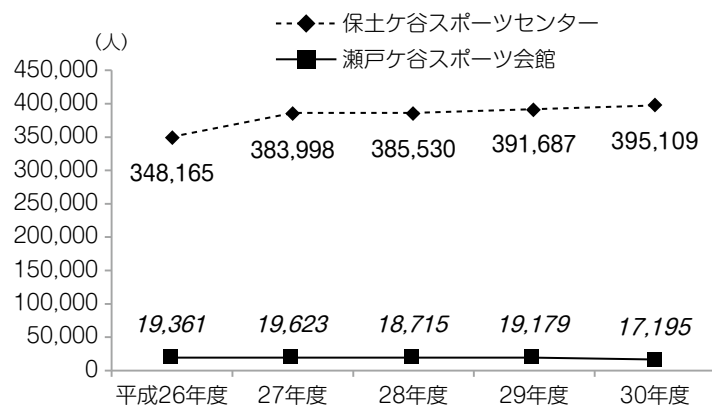
順位	タイトル	著者
1	九十歳。何がめでたい	佐藤 愛子
2	マスカレード・イブ	東野 圭吾
3	コンビニ人間	村田紗耶香
4	マスカレード・ホテル	東野 圭吾
5	火花	又吉 直樹

■児童書

順位	タイトル	著者
1	かいけつゾロリイシシ・ノシシ大ピンチ!!	原 ゆたか
2	かいけつゾロリなぞのスパイと100本のバラ	原 ゆたか
3	おばけのアッチとドララちゃん	角野 栄子
3	わたしのワンピース	にしまさかやこ
5	11ぴきのねこふくろのなか	馬場のぼる

資料：保土ヶ谷図書館

○保土ヶ谷スポーツセンター等利用状況の推移



資料：保土ヶ谷区地域振興課

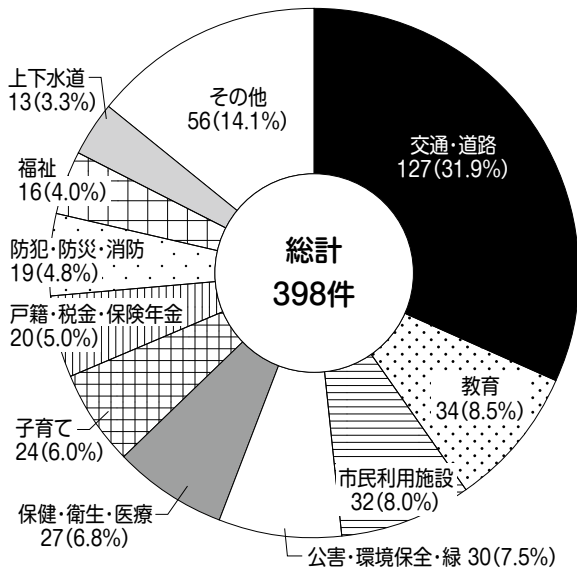
○コミュニティハウス等の利用状況 (平成30年度)

施設名	利用者(人)
桜ヶ丘コミュニティハウス	33,876
権太坂コミュニティハウス	30,938
常盤台コミュニティハウス	35,374
川島町公園こどもログハウス	27,917
峯小学校コミュニティハウス	9,510
笹山小学校コミュニティハウス	7,964
くぬぎ台小学校コミュニティハウス	6,819

資料：保土ヶ谷区地域振興課

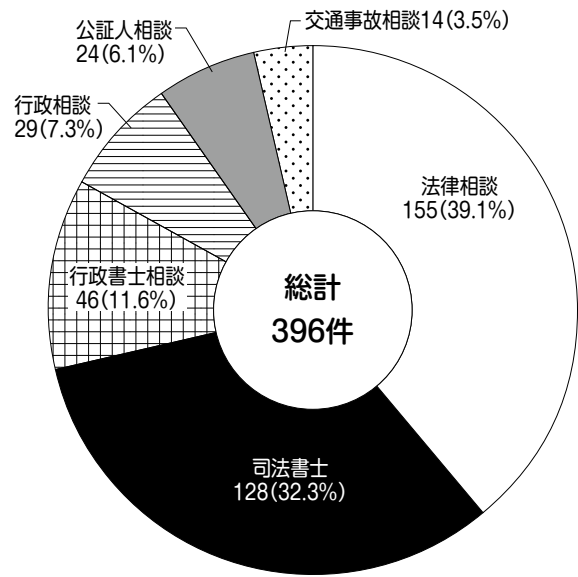
10 市・区政相談

○「市民からの提案」分野別受付件数内訳 (平成30年度)



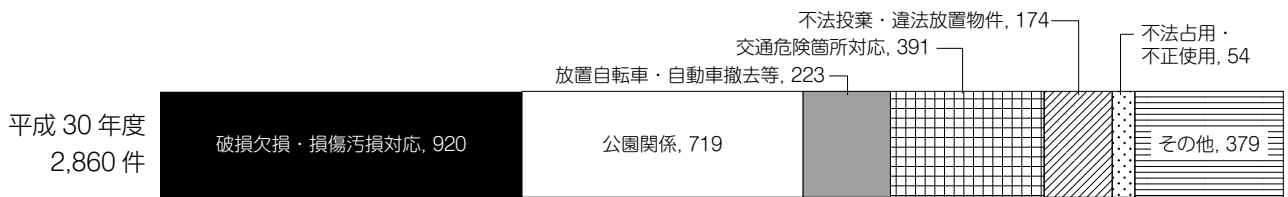
資料：保土ヶ谷区区政推進課

○特別相談件数内訳(平成30年度)



資料：保土ヶ谷区区政推進課

○土木事務所相談件数内訳



資料：保土ヶ谷土木事務所

11 戸籍

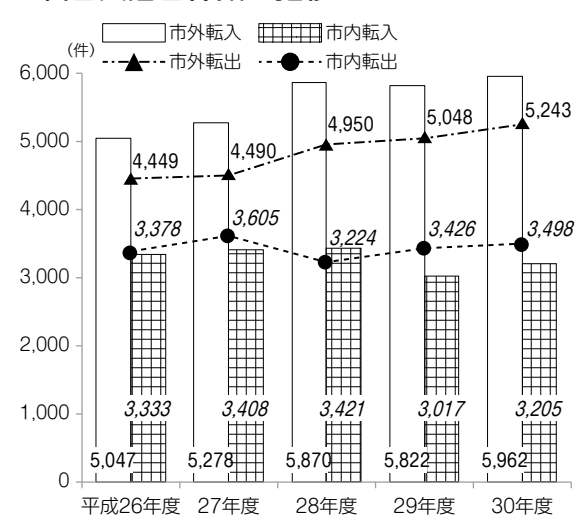
○諸証明書発行状況

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
戸籍謄抄本	42,387	43,270	43,648	44,699	43,070
住民票写し	74,189	81,514	71,379	67,366	65,347
印鑑登録証明書	43,356	42,454	42,419	39,235	38,123
総計	159,932	167,238	157,446	151,300	146,540

資料：保土ヶ谷区戸籍課

(単位：件)

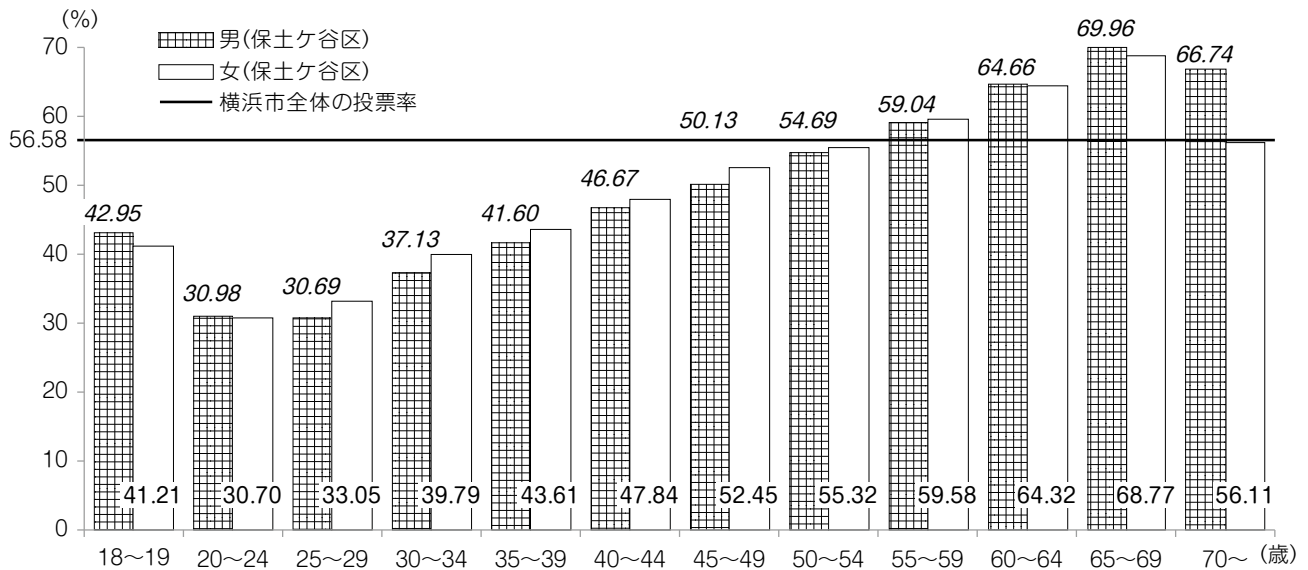
○転出入届出件数の推移



資料：保土ヶ谷区戸籍課

12 選 挙

○年代別投票率(平成29年10月22日執行 衆議院議員総選挙(小選挙区))



※在外選挙人を含まない。

資料：保土ヶ谷区総務課

○投票所別投票率(平成29年10月22日執行 衆議院議員総選挙(小選挙区))

投票所	投票率(%)		
	男	女	計
1 横浜市立岩崎小学校	52.05	52.98	52.51
2 横浜市岩崎地域ケアプラザ	51.51	53.67	52.67
3 横浜市初音が丘地区センター	49.40	50.10	49.75
4 横浜市立初音が丘小学校	48.72	48.41	48.57
5 横浜市立境木小学校	56.37	52.00	54.09
6 横浜市立権太坂小学校	51.15	49.83	50.48
7 イコットハウス	59.07	55.61	57.28
8 横浜市立富士見台小学校	51.90	52.16	52.02
9 横浜市立桜台小学校	55.78	54.50	55.12
10 偕恵いわまワークス	52.73	54.45	53.57
11 横浜市立帷子小学校	54.26	52.49	53.34
12 横浜市ほどがや地区センター	49.98	48.36	49.17
13 てっぺん山会館	50.00	48.67	49.34
14 横浜市立ろう特別支援学校	50.49	50.28	50.39
15 峰沢団地集会所	52.42	52.99	52.71
16 横浜市立峯小学校	59.55	57.57	58.53
17 和田西部町内会館	51.28	49.44	50.34
18 横浜市立常盤台小学校	49.46	49.88	49.67
19 峯岡幼稚園	51.14	54.41	52.75
20 横浜市立星川小学校	54.37	54.08	54.22
21 横浜市立仏向小学校	54.06	51.35	52.70
22 コンフォール明神台集会所	56.41	56.83	56.63

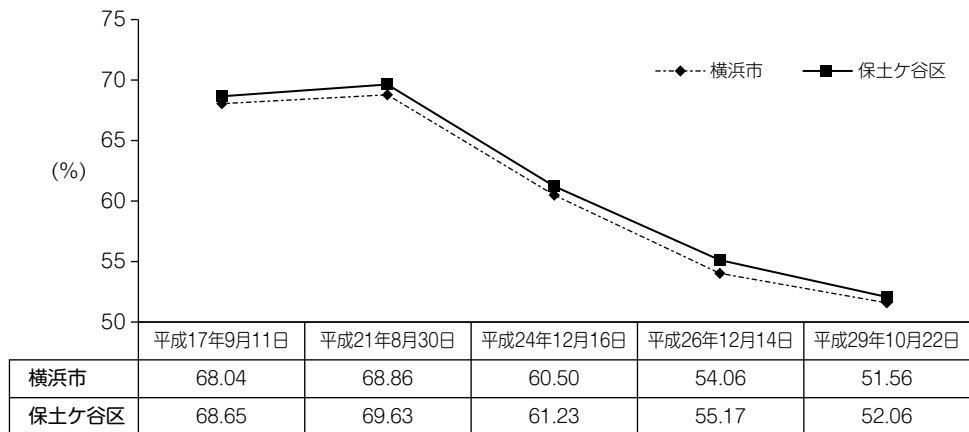
投票所	投票率(%)		
	男	女	計
23 横浜市立坂本小学校	50.59	50.27	50.43
24 横浜市立橘中学校	48.66	49.84	49.23
25 くぬぎ台小学校コミュニティハウス	49.68	47.75	48.63
26 ハイム向台団地集会所	56.78	55.38	56.05
27 川島第三町内会館	51.74	53.49	52.62
28 上星川町内会館	51.00	52.36	51.69
29 川島第五町内会館	50.08	49.22	49.66
30 横浜市西谷地区センター	50.52	50.34	50.43
31 横浜市立上菅田中学校	48.07	48.39	48.23
32 横浜市立上菅田小学校	54.71	54.76	54.74
33 県営笹山団地集会所	47.00	53.85	50.73
34 千丸台団地第一集会所	48.02	47.96	47.99
35 ほどがや防犯センター	45.91	42.93	44.37
36 横浜市立藤塚小学校	57.35	55.45	56.38
37 横浜市立瀬戸ヶ谷小学校	54.08	53.76	53.92
38 西久保町公園ハイツ集会所	66.16	59.61	62.71
39 横浜市権太坂コミュニティハウス	56.97	56.98	56.97
40 横浜市立上菅田特別支援学校	53.42	50.73	52.08
41 横浜市立新井小学校	48.61	48.23	48.42
投票区合計(在外除く)	52.37	51.82	52.09
在外投票	23.00	24.58	23.85
合計	52.34	51.78	52.06

資料：保土ヶ谷区総務課

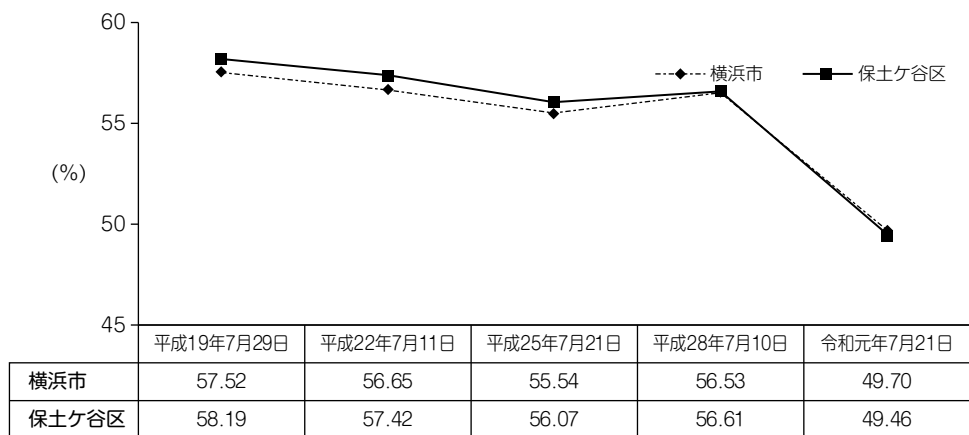
12 選 挙

○ 選挙別投票率の推移

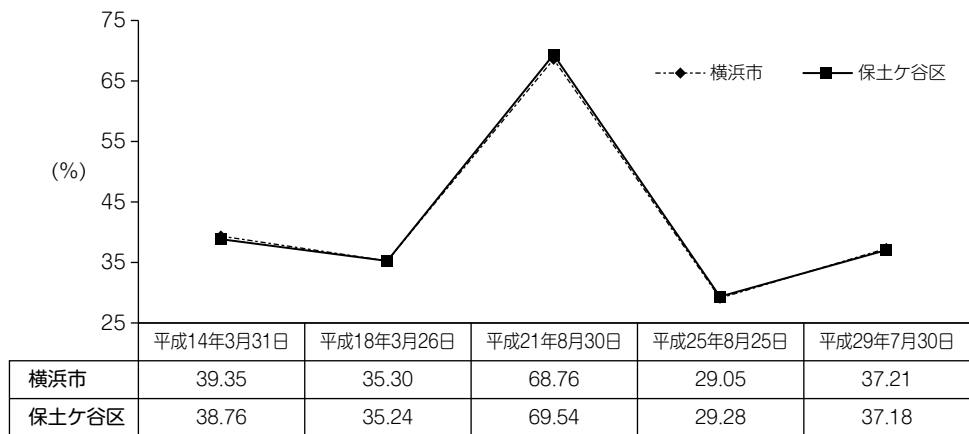
衆議院選挙
〈小選挙区〉



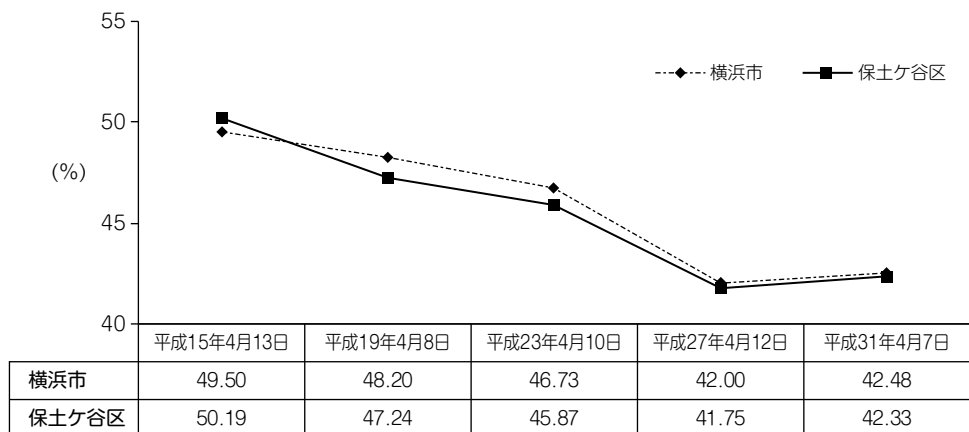
参議院選挙
〈選挙区〉



横浜市長選挙



統一地方選挙
(横浜市議会議員選挙)



資料：横浜市統計ポータルサイト

13 地域社会

○地区連合町内会加入状況(平成31年4月1日現在)

名 称	加入町内会数 (団体)	加入世帯数 (世帯)	名 称	加入町内会数 (団体)	加入世帯数 (世帯)
保土ヶ谷地区連合自治会	13	3,333	和田・釜台地区連合町内会	5	2,791
保土ヶ谷南部地区連合自治会	7	2,415	上星川地区連合町内会	3	2,559
保土ヶ谷中部地区連合自治会	5	2,214	常盤台地区連合町内会	10	2,643
保土ヶ谷東部地区連合自治会	20	7,549	川島東部連合町内会	6	2,685
保土ヶ谷西部連合自治会	12	2,682	仏向地区連合町内会	7	4,821
新桜ヶ丘地区連合自治会	5	2,244	川島原地区連合会	9	1,951
権太坂境木地区連合自治会	8	2,876	西谷連合町会	8	3,056
岩井町原連合町内会	5	1,533	上新地区連合自治会	2	1,712
岩間地区連合町内会	17	6,431	上菅田地区連合自治会	11	3,169
中央連合町内会	16	6,582	地区連合未加入団体	18	4,726
中央東部地区連合町内会	10	3,666	合 計	197	71,638

資料：保土ヶ谷区地域振興課

14 防 災

地域防災拠点(指定避難所)及び広域避難場所一覧

※地域防災拠点(指定避難所)とは

区内27か所の身近な小・中学校等を家屋の倒壊などにより自宅で生活できなくなった場合の避難場所としてあらかじめ指定しています。避難者が一時的に生活するための最低限の食料・水を備蓄するとともに、救助活動に必要な資機材などを整備しています。

※広域避難場所とは

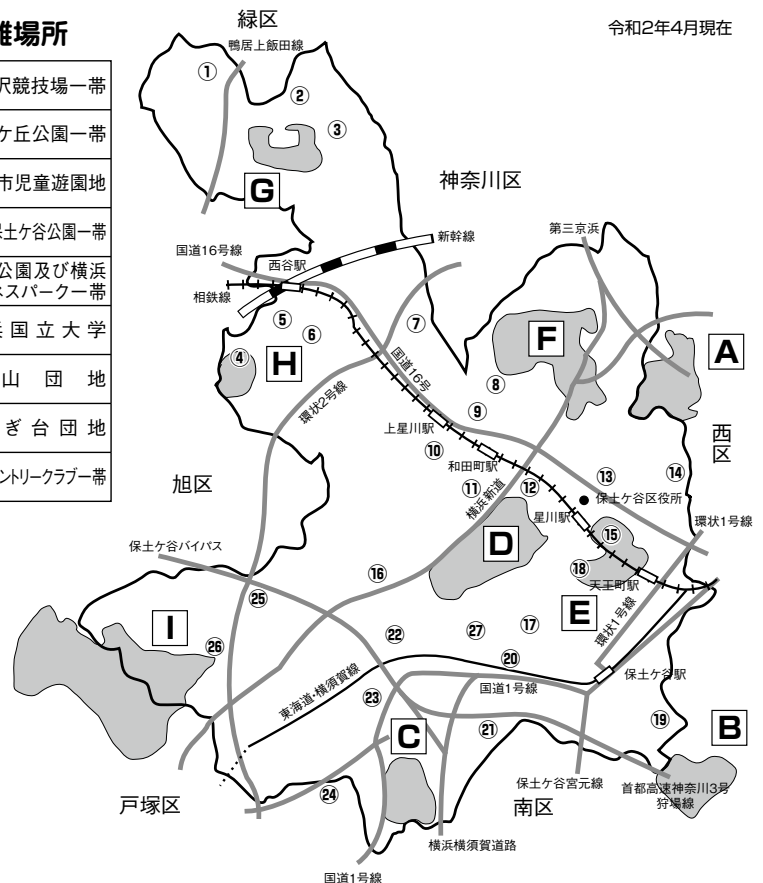
地震による火災が多発し延焼拡大した場合、熱や煙から生命・身体を守るため一時的に避難する場所です。

地域防災拠点(指定避難所)

番号	学 校	住 所
①	新井小学校	上菅田町1574-1
②	上菅田笹の丘小学校	上菅田町1422
③	上菅田中学校	上菅田町780
④	旧くぬぎ台小学校	川島町1374-1
⑤	西谷中学校	川島町1208
⑥	川島小学校	川島町1162
⑦	上星川小学校	上星川2-51-1
⑧	常盤台小学校	釜台町22-1
⑨	保土ヶ谷中学校	釜台町3-1
⑩	坂本小学校	坂本町6
⑪	仏向小学校	仏向町845
⑫	星川小学校	星川3-18-1
⑬	峯小学校	峰岡町1-10
⑭	宮田中学校	宮田町1-100
⑮	帷子小学校	川辺町65-1
⑯	橘中学校	仏向町1167-2
⑰	桜台小学校	桜ヶ丘1-13-1
⑱	保土ヶ谷小学校	神戸町129-4
⑲	富士見台小学校	岩井町307
⑳	岩崎小学校	岩崎町22-1
㉑	瀬戸ヶ谷小学校	瀬戸ヶ谷町243
㉒	初音が丘小学校	藤塚町1-1
㉓	権太坂小学校	権太坂2-4-1
㉔	境木小学校	戸塚区平戸3-48-1
㉕	藤塚小学校	新桜ヶ丘1-22-1
㉖	今井小学校	今井町981-1
㉗	岩崎中学校	桜ヶ丘2-6-1

広域避難場所

A	三ツ沢競技場一帯
B	清水ヶ丘公園一帯
C	横浜市児童遊園地
D	県立保土ヶ谷公園一帯
E	川辺公園及び横浜ビジネスパーク一帯
F	横浜国立大学
G	笹山団地
H	くぬぎ台団地
I	横浜カントリークラブ一帯



令和2年4月現在

※上菅田小学校と笹山小学校の統合に伴い、令和2年4月1日に「上菅田笹の丘小学校」及び「上菅田中学校」を地域防災拠点に指定予定。

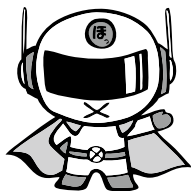
区の出来事&世の中の動き

西暦	年号	区の出来事	世の中の動き
901 ~ 931	延喜~延長のころ	平安時代中期に作られた辞書「和名抄」に久良郡星川郷、都筑郡幡屋郷などの郷名がある。	「古今和歌集」ができる。905年(延喜5)
1480	文明12	太田道灌の歌日記「平安紀行」に「帷子」の地名がある。	応仁の乱が起こり戦国時代始まる。1467年(応仁元)~1477年(文明9)
1559	永禄2	小田原北条氏の所領の記録「小田原衆所領役帳」に、星川、仏向、保土ヶ谷、川島、今井の地名がある。	川中島の戦い。1553年(天正22)~1564年(永禄7)
1601	慶長6	東海道の宿駅の制度が定められ、保土ヶ谷宿が幕府の公認の宿場となり、本陣、問屋場が置かれた。	桶狭間の戦い。1560年(永禄3)
1648	慶安元	新道(現在の旧東海道)ができ、宿場が移った。	関ヶ原の戦い。1600年(慶長5)
1663	寛文3	保土ヶ谷宿が大火、500棟が消失した。	江戸時代に入る。1603年(慶長8)
1831	天保2頃	葛飾北斎が「富嶽三十六景」のうち「境木」を作成した。	由井正雪の乱(慶安事件)。1651年(慶安4)
1834	天保5頃	安藤広重が「東海道五十三次」のうち「帷子橋」を作成した。	天保の大飢饉。1833年(天保4)~1839年(天保10)
1854	安政元年	吉田松陰が保土ヶ谷宿に来宿した。	大塩平八郎の乱。1837年(天保8)
1859	安政6	横浜が開港される。横浜町(5か町)ができる。	日米和親条約を結ぶ。
1870	明治3	本陣、問屋場が禁止された。	日米修好通商条約を結ぶ。1858年(安政2)
1871	明治4	保土ヶ谷郵便取扱所が設置された。	生麦事件が起きる。1862年(文久2)
1884	明治17	保土ヶ谷~戸塚間の新道が完成した。	都を東京に移す。1869年(明治2)
1887	明治20	東海道程ヶ谷駅が完成した。	廃藩置県。
1889	明治22	横浜市が誕生した。(人口116,193人 面積5.40km ²)	郵便制度ができる。
1909	明治42	横浜市章、市歌が制定される。	内閣制度ができ、伊藤博文が初代内閣総理大臣になる。1885年(明治18)
1915	大正4	西谷浄水場が竣工した。	東京に電灯がつく。
1927	昭和2	保土ヶ谷町と西谷村が横浜市に編入された。(4月1日) 保土ヶ谷区が誕生(10月1日) 人口38,118人(12月末)	大日本帝国憲法が公布される。
1929	昭和4	横浜市児童遊園地が開園した。	東海道線が全線開通する。
1933	昭和8	神中鉄道(現在の相模鉄道)が横浜駅へ乗り入れ、厚木~横浜駅間が開通した。	第一次世界大戦が起こる。1914年(大正3)
1945	昭和20	市街地が空襲を受け、3,200戸が消失した。	関東大震災が発生する。1923年(大正12)
1949	昭和24	県営保土ヶ谷球場が開場し、巨人対東急の試合が行われた。	アメリカの不景気が世界に広がり、世界大恐慌となる。
1956	昭和31	区の人口が10万人を超えた。	満州事変が起こる。1931年(昭和6)
			二・二六事件が起こる。1936年(昭和11)
			日中戦争が起こる。1937年(昭和12)
			第二次世界大戦が始まる。1939年(昭和14)
			太平洋戦争が起こる。1941年(昭和16)
			戦争終結
			野毛、反町で日本貿易博覧会が開催される。
			湯川秀樹がノーベル賞を受賞。
			朝鮮戦争が起こる。1950年(昭和25)
			サンフランシスコ平和条約を結ぶ。1951年(昭和26)
			日米安全保障条約を結ぶ。1951年(昭和26)
			日ソ共同宣言。ソビエト連邦との国交回復。
			国際連合に加入する。
			横浜市が政令指定都市となる。

西暦	年号	区の出来事	世の中の動き
1957	昭和32	県立保土ヶ谷公園が、県内初めての総合運動公園として完成した。	
1959	昭和34	横浜新道が開通した。	
1960	昭和35		日米安全保障条約延長、安保反対闘争起こる。
1964	昭和39	区の人口が20万人を超えた。	東海道新幹線が開通する。
1969	昭和44	10区が14区に再編され、保土ヶ谷区から旭区が分区分した。 分区分前人口 283,649人(9月1日) 分区分後人口 161,968人(10月1日)	東京オリンピックが開催される。
1974	昭和49	保土ヶ谷バイパスが開通した。	横浜市人口が200万人を突破(全国3位) 小笠原諸島が日本に復帰1968年(昭和43) 日本万国博覧会が開催される。1970年(昭和45)
1977	昭和52	区のシンボルマークを制定した。 	横浜で第2回アジア卓球選手権大会が開催される。 横浜市人口が250万人を突破。 沖縄諸島が日本に復帰する。1972年(昭和47) 沖縄海洋博覧会が開催される。1975年(昭和50)
1980	昭和55	狩場町に環境事業局保土ヶ谷工場が完成した。 保土ヶ谷プールと老人福祉センター狩場緑風荘が開館した。	ロッキード事件が起きる。1976年(昭和51)
1982	昭和57	保土ヶ谷公会堂・保土ヶ谷図書館が開館した。	
1987	昭和62	横浜水道記念館が開館した。	横浜市人口が300万人を突破。1985年(昭和60) 筑波万国博覧会が開催される。1985年(昭和60) 日航ジャンボ機墜落事故が起こる。1985年(昭和60)
1989	平成元年	「初音が丘地区センター」開館 「保土ヶ谷スポーツセンター」開館	消費税が施行される。
1990	平成2	市制100周年：「区の花(すみれ)」、「区の鳥(カルガモ)」制定 横浜ビジネスパーク第1期工事分が完成 「瀬戸ヶ谷スポーツ会館」開館 高速神奈川3号狩場線が開通	横浜市政100周年・開港130周年を迎え、横浜博覧会がみなとみらい21地区で開催される。
1991	平成3	「横浜市岩間市民プラザ」開館。同時に偕恵いわまワークス・保土ヶ谷区国際交流コーナー開設。	湾岸戦争が勃発する。
1992	平成4	県立保土ヶ谷公園内に「かながわアートホール」開館。 「区の色(ほどがやグリーン)」を制定 「上菅田地域ケアプラザ」開設 「川島町公園こどもログハウス」開所	
1993	平成5	集中豪雨により、今井川、帷子川氾濫	
1994	平成6	今井川、帷子川に「河川水位警報サイレン」設置 「川辺公園親水護岸」完成	
1995	平成7	横浜新道「藤塚インターチェンジ」開通	阪神淡路大震災が起きる。
1996	平成8	「岩崎地域ケアプラザ」開設 保土ヶ谷宿400倶楽部が地域づくり団体自治大臣表彰受賞	
1997	平成9	区制70周年：「ふれあいせせらぎのみち」開園	
1998	平成10	環状2号線が暫定開通 星川一里塚公園、岩崎町第3公園開園 「ほどがや花憲章」制定	長野オリンピックが開催される。
1999	平成11	「今井地区センター」・「今井地域ケアプラザ」が開館した。 桜ヶ丘コミュニティハウス、保土ヶ谷区福祉保健活動拠点、保土ヶ谷区生涯学習支援センター開設	

西暦	年号	区の出来事	世の中の動き
2000	平成12	分区以来はじめて人口が20万人に。	アメリカ同時多発テロ事件が起きる。
2001	平成13	「横浜市西部地域療育センター」開設	
		横浜新道「今井・川上インターチェンジ」完成	
2002	平成14		横浜市人口が350万人を突破。 サッカーワールドカップが日韓共催で開催され、横浜で決勝戦が行われる。 イラク戦争が勃発する。
2003	平成15	複合施設「かるがも」が開館した。 旧保土ヶ谷小学校跡地暫定利用開始(イコットハウス・イコット広場)	
2004	平成16	障害地域活動ホーム「ゆめ」開設	新潟県中越地震が起きる。
2005	平成17	「くぬぎ台小学校コミュニティハウス」開設 防犯ステーション2か所設置(今井町・新井町) 空き店舗を利用した多目的防犯拠点「千丸台ふれあい館」開設	愛知万国博覧会が開催される。
2006	平成18	「保土ヶ谷バイオガーデン」開園 「ほ도가や市民活動センター(アワーズ)」開設 「仏向地域ケアプラザ」、「ほ도가や防犯センター」開設	
2007	平成19	地域子育て支援拠点「こっころⅠ、Ⅱ」開設 「権太坂小学校コミュニティハウス」開設 区制80周年：「区の歌(わがまち、保土ヶ谷)」、 「区の木(シイノキ、ハナモモ)」制定	新潟中越沖地震が起きる。
2008	平成20	ブルガリアの首都ソフィア市とパートナー都市協定締結、保土ヶ谷区の高校生が交流 「まちかど博物館」オープン 「今井川プロムナード」開通	アメリカ発の世界的金融危機広まる。
2009	平成21	「常盤台ケアプラザ、常盤台コミュニティハウス」オープン	横浜開港150周年を迎える。“開国博Y+150”
2010	平成22	重度身体障害者生活支援施設「たっち ほ도가や」開所 仏向町の一部で住居表示を実施し、「仏向西」設置	A P E C 横浜開催
2011	平成23	「たちばなの丘公園」保土ヶ谷区側オープン 「川島地域ケアプラザ」開設	東日本大震災が起きる。
2013	平成25	国立大学法人横浜国立大学と連携協力協定を締結 横浜市初の協働契約が「ほ도가や 人・まち・文化振興会」と締結され、市民協同事業として実施	横浜市人口が370万人を突破。 富士山が世界遺産に登録される。
2014	平成26	「星川中央公園多目的広場」オープン	
2015	平成27	ほ도가や区の歌音頭制作披露	戦後70年をむかえる。
2016	平成28	区民会議と協働契約を結ぶ。	熊本地震が起きる。
2017	平成29	相模鉄道星川駅・和田町駅間高架橋(下り線)開通 区制90周年	
2018	平成30	「ほ도가や花憲章」制定20周年 ブルガリア共和国(ソフィア市)とのパートナー都市協定10周年、駐日ブルガリア共和国大使館の参事官が「ほ도가や花フェスタ2018」を表敬訪問 相模鉄道星川駅・天王町駅間高架橋(上り線)開通	大阪府北部地震が起きる。 北海道胆振東部地震が起きる。
2019	平成31 令和元年	保土ヶ谷区内に練習場を構える横浜FC 13年ぶりにJ1昇格 相鉄・JR直通線開通	天皇陛下即位 令和に改元 ラグビーワールドカップ2019日本大会開幕 日本8強 横浜で決勝戦が行われる。

いろいろな統計調査



これまでご紹介したデータには国が指定し、区民のみなさんや事業所のご協力による調査結果も多く含まれています。統計調査のデータは、国や県、市区町村の施策の基礎資料として欠くことのできないデータです。
区民のみなさん、事業所のみなさん、統計調査にご協力をお願いします。

国勢調査【5年ごと 全数】

項目：人口、世帯、配偶関係、就業状態、など

<活用事例>

- 衆議院議員選挙区の改定
- 少子高齢化対策
- 地方交付税の算出
- 防災計画や被害予測
- 都道府県、市町村議会の議員定数の算定
- 地域、産業の振興や雇用対策
- 都道府県の保健医療福祉計画

工業統計調査

項目：事業所数、従業者数、製造品出荷額、原材料使用額、敷地面積、工業用水など

<活用事例>

- 製造業生産活動の実態把握
- 産業、中小企業政策の資料
- 経済分析や経済指標の基礎データ

住宅・土地統計調査【5年ごと 抽出】

項目：住宅の所有関係、敷地面積、構造、階数、現住居に入居した時期など

<活用事例>

- 土地利用計画等への利用
- 地方公共団体における住宅建設計画
- 住宅建設計画の策定
- 高齢社会におけるバリアフリー推進の資料

農林業センサス【5年ごと 10年ごとに世界規模 全数】

項目：土地、作付面積、森林面積、施設、家畜、農作物の販売、経営状況など

<活用事例>

- 農林業政策の資料
- 農林業の発展方向のための分析と研究の資料
- 農山村地域の地域データベース充実化のための資料

全国消費実態調査【5年ごと 抽出】

項目：家計上の収入と支出、主要耐久消費財の普及状況、年間収入及び貯蓄・負債など

<活用事例>

- 世帯の所得や消費水準の資料
- 年金や税制検討のための資料
- 税制調査会における検討
- 国連への報告(国際人権規約)

経済センサス

項目：親会社の有無等、資本金等の額・外国資本比率、事業所の従業者数、売上高など

<主な利用例>

- 地方消費税の精算及び市町村への交付
- 国民経済計算(GDPなど)の推計
- 「新経済成長戦略」の策定
- 有害物質排出量の推計などの環境対策
- 中小企業の開廃業率等の地域格差の把握
- 女性の社会活動進出のための支援施策立案
- 地下鉄やバス路線の整備・防災対策・エネルギー供給に係る施策の基礎資料

学校基本調査【毎年 公立・私立幼小中高校】

項目：学級数、児童・生徒数、教職員数、卒業後の進路、不登校の状況など

<活用事例>

- 教育行政の資料
- 地方交付税の算定資料
- 学校教育の長期計画策定の資料

就業構造基本調査【5年ごと 抽出】

項目：ふだんの就業、不就業状態、有業者の従業上の地位、無業者の就業希望の有無など

<活用事例>

- 就労環境の分析
- 雇用システムの改革
- 高齢者の就業促進に向けた課題
- 青少年の労働力人口等の現状報告
- 職業能力開発計画の策定

全国物価統計調査【5年ごと 抽出】

項目：商品・サービスの価格、店舗の従業者数、取扱商品の種類、商品の主な仕入れ先など

<活用事例>

- 物価の地域間格差の要因分析
- 公務員給与の調整手当て、生活保護費の算出
- 消費者の選好の変化の分析
- ディスカウント販売の分析

全数＝対象全体に調査 抽出＝対象から抽出し調査

発行：令和2年3月

発行者：横浜市保土ヶ谷区役所総務課 TEL：045 (334) 6207 / FAX：045 (334) 6390
〒240-0001 横浜市保土ヶ谷区川辺町2-9

印刷：株式会社 Yuki Print



Instagram 保土ヶ谷区役所インスタグラムアカウント
@hodogaya_official



アカウント二次元コード▶

保土ヶ谷を、知る。💡

当アカウントでは保土ヶ谷の魅力的なシーンを
随時発信しています。



#英連邦戦死者墓地



#児童遊園地からの夕焼け



#保土ヶ谷公園



#帷子橋



#横浜ビジネスパーク



#区の鳥カルガモ



#仏向矢シ塚公園



#花フェスタ

保土ヶ谷を、撮る。📷

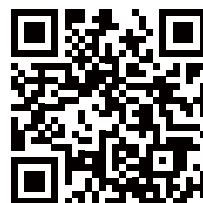
ハッシュタグ#フォトガヤを付けて写真を投稿しよう。
あなたから見た保土ヶ谷の“好き”を共有してください！
あなたの投稿が当アカウントで紹介されるかも…？

※インターネットでも写真を閲覧できます。

統計情報の総合窓口 横浜市統計ポータルサイト

横浜市全体の統計情報の他、横浜市内の各区別統計情報なども掲載されています。

○横浜市トップページ⇒統計情報⇒横浜市統計ポータルサイト
<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/stat/>



二次元コード▶